OVER TIME®

録画機能付きポータブル液晶テレビ

9インチ OT-CT90G
10.1インチ OT-CT101G

取扱説明書

家庭用



地デジ 1SEG　EPG 電子番組表　AV IN　HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE　ハードディスク録画可能 HDD USB

この度は本製品をお買上げ戴きまして誠にありがとうございます。

＜使用開始前に必ずお読みください！＞

【ご注意】USB外付けハードディスクをご使用の場合、本製品を初期化や修理をされますと録画データーはご覧になれなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

■電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になる恐れがあります。
本書には事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱い方を示しています。本書をよくお読みの上、製品を安全かつ丁寧にお使いください。

■本書をお読みになった後はお買上げ証明書(押印ある伝票、レシートなど)と一緒に大切に保管してください。
保証書に手書きのみは無効です。不備がある場合はお買い上げ店にご相談ください。
保証期間はお買上げ日より１年間ですが有償になる場合がございます。ご使用開始前に【保証規定】【保証書】も、お読みください。間違った使用や改良その他での不具合は無償保証対象外になります。

■本機は一般家庭用です。業務用や車載用ではありません。連続長時間の使用は不良発生のリスクを高めます。
振動に弱い精密機器ですので付属の車載バッグを使用して後部座席搭乗者の視聴以外の使用は厳禁します。

■リモコンの電池にもご注意ください。お子様やペットが触れない所に置いてください。

■本書の再発行はいたしません。

ダイアモンドヘッド株式会社

目　次（もくじ）

はじめに 3

安全上のご注意 3
使用上のご注意とお願い 5
付属品のご確認 6

準備 7

各部の名称（本体） 7
各部の名称（リモコン） 8
テレビの設定 9
設置する 9
アンテナの接続 10
各端子部などの名称 11
miniB-CAS カードの準備 11
リモコンの準備 12
電源コードをつなぐ 12
電源を入れる 12

チャンネルの初期設定 13

テレビを視聴する 16

基本的な使い方 16
電子番組表（EPG）を使う 18

録画機能を使う 19

番組録画（予約）機能について 19
録画用外部メモリーの準備 20
番組録画に関する各機能を使う 22

テレビモード時のリモコン操作／各種設定 25

テレビモード時の本体設定 26

付加機能を使う 27

外部機器と接続する 27
外部メモリーデータの再生 28

付加機能使用時のリモコン操作／各種設定 30

その他 31

故障かな？と思ったら 31
内蔵電池について、録画用メモリーのファイル形式をPCで、フォーマットする 33
製品仕様 34
保証規定とアフターサービス、免責 35
保証書 36

はじめに

本製品をご使用になる前に、以下の「安全上のご注意」「使用上のご注意とお願い」を必ずよく読み、正しくお使いください。

安全上のご注意 3
使用上のご注意とお願い 5
付属品の確認 6

安全上のご注意

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品は全て、間違えた使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながる恐れがあり大変危険です。
本製品および付属品をご使用されるときは、事故を防ぐため、以下の注意事項をよくご理解いただき、必ずお守りください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
高圧注意を表します。	禁止を表します。
必ず指示に従います。	

⚠注意	この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。
接触禁止を表します。	分解・修理・改造禁止を表します。
コンセントの扱いに注意してください。	

⚠ 警 告

- 電源プラグをコンセントから抜くときに必ず電源プラグを持って抜いてください。
  濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 電源コードが損傷したり電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグの冷えたことを確認してコンセントから抜いてください。コードを抜くときはプラグを持ちながら行ってください。
- 雷が鳴り出したときは、本製品に触れないでください。誘導落雷により感電することがあります。
- 本製品の上に金属類、花瓶やコップなど水の入った容器をのせないでください。火災・感電の原因となります。
- 本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、水分などが入ると、感電や火災の原因となります。
- 本製品を落としたとき、また落下物などで本製品キャビネットを破損したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き出してください。

安全上のご注意

⚠ 警 告

本製品や電源コードの内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。

電源コードを延長したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。火災や感電の原因になります。

通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり発火やけが、感電の原因となることがあります。

裏ぶたをはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。

下記の場合は、電源を切り電源プラグを抜いてからお買上げの販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。ご自身での修理は危険ですので、絶対になさらないでください。

- 落としたりして機器が破損した
- 機器の中にものが入った
- 熱器具に近づける
- 液や煙、音、または異臭がでる
- 機器を雨や湿気にさらした
- 電源コードや電源プラグが破損した
- 途中でつぎ足したりして加工する
- トラブルシューティングで対応できない

⚠ 注 意

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

液晶パネルに衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因になります。

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。

- 本製品をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

移動するときは、電源プラグ、外部との接続をはずしてください。

旅行などで長時間ご使用にならないときは、安全のため電源コードをコンセントから抜いてください。

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意とお願い

●デジタル放送のコピー制御について
本製品には付属の miniB-CAS カードを必ず挿入してください。デジタルテレビ放送ではコピー制御の為、B-CAS の機能を利用します。
挿入されないと、全てのデジタルテレビ放送が映らなくなります。カードを挿入していただくことで、地上デジタル放送の各番組をお楽しみいただけます。
（NHK や無料民法放送など）
デジタル放送は鮮明で迫力あるハイビジョンなど高画質の放送がご視聴でき、また高画質のままで録画できることが特徴のひとつです。ただし、著作権への配慮が必要です。録画した番組を個人で楽しむ限りは問題ありませんが、録画した番組を許可なくダビングして他人に配ることは法律に違反します。また不正にダビングしたソフトが出回ることになれば、番組の制作者や出演者などの権利が著しく侵害され、良質な番組の提供に支障をきたすことになります。そこで地上デジタルテレビ放送局では、電波にコピー制御信号を加えて放送しています。コピー制御により、著作権を保護し魅力ある番組が製作されます。（ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。）

●液晶パネルのドット欠けについて
液晶パネルには画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは液晶パネルの製造上の特性に付き故障ではありません。

●本製品の温度について
本製品は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、ビデオディスクなどの熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

●設置室内の温度について
液晶の特性により、室温が低い場合は、画像がぼやけたり動きがスムーズに見えなかったりすることがありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。

●輸送について
本体を横倒しにして輸送した場合、液晶パネル部の破損や画欠点の増加などの恐れがありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

●ゲーム機器との接続について
ガン（銃）タイプのコントローラーを使用するゲーム機器などは本製品では使用できない場合があります。詳しくは各ゲームおよびコントローラーの説明書をご覧ください。またゲーム機器の操作に対して、若干遅れて反応しているように感じられる場合があります。これは入力された信号が表示されるまでに、デジタル処理によるタイムラグが発生するためで、故障ではありません。ゲームの種類や内容によっては、画面が欠けて表示される場合があります。

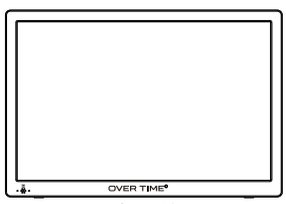
●お手入れについて
お手入れの際は、必ず本製品および接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞ってから拭き取り、その後乾拭きしてください。
＊キャビネットの変質や破損・塗料剥がれなどの恐れがありますので、以下のことをお守りください。
・ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は注意書きに従ってください。
・殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。またゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長時間接触させないでください。
＊液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護の為、以下の事をお守りください。
・パネルに硬いものや尖ったものを当てたり、強く押したり、こすったりしないでください。傷や変色の原因となります。
・パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラや変色の原因となります。
・パネルの汚れを拭き取る時は、ホコリの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷や変色の原因となります。

●本製品を破棄するときは ...
一般の廃棄物と一緒にしないでください。ゴミ廃棄場で処分されるゴミの中に本製品を捨てないでください。本製品を破棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

付属品のご確認

本機をご使用前に以下の同梱品が揃っているか必ずご確認してください。
予告なしで変更の場合がございます。増減を含め正しい同梱品はパッケージの印刷とさせていただきます。

●本品には後席同乗者が視聴時に便利なカーバッグが付属しています。渋滞時などで活用してください。



本　体


カーバッグ ⟶

カーバッグの取付及び使用方法



カーバッグ（ヘッドレスト用）
※上記画像は 13.3 型です

1-2 ヘッドレストのパイプにベルトを回して装着し長さを調整します
・本体を時計回りに慎重に 90° 回して折りたたみます
・電源、ディスクを入れます
3 折りたたんだ本体をバッグに入れます

●リモコンで上手くいかない場合は先にディスク等を立ち上げてからバッグに入れてください

ご注意：
- ヘッドレストの形状によっては装着できません
- 再生中衝撃を受けますと映像や音が飛びます
- 悪路や天候不順時は絶対使用しないでください 不具合を生じる恐れがあります


スリム
リモコン
テスト用電池付属


AC アダプター
屋内用


DC アダプター
12V シガーライター用
24V、変圧器、分配器使用禁止

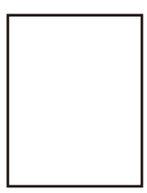

AV ケーブル
※市販品は合わない場合がありますので同梱品を使用してください


イヤホン



ミニB-CAS
カード
デジタル放送視聴用


アンテナ、アンテナ台座
アンテナ画像は伸ばした状態です
台座を着けることで電波を若干、増幅できます


本書
取扱説明書
保証書（頁末）

※画像とは異なる場合がありますが同等の物を付属します

■アダプター他当機純正付属品及び弊社提供品以外の、ご使用での不具合は無償対象外になります。
また他社機器のサポートはしておりません(接続方法や相性、動作確認ほか)

■同梱の電池はモニター用です。早く切れる場合があります。

■車シガーライター用DCアダプターは車によっては形状が合わない場合があります。
※その場合は使用はできません。外国車は特にご注意ください。

■リモコンは、他の赤外線対応の機器等に反応しますのでご注意ください。特に車に反応する場合がありますので注意してください。

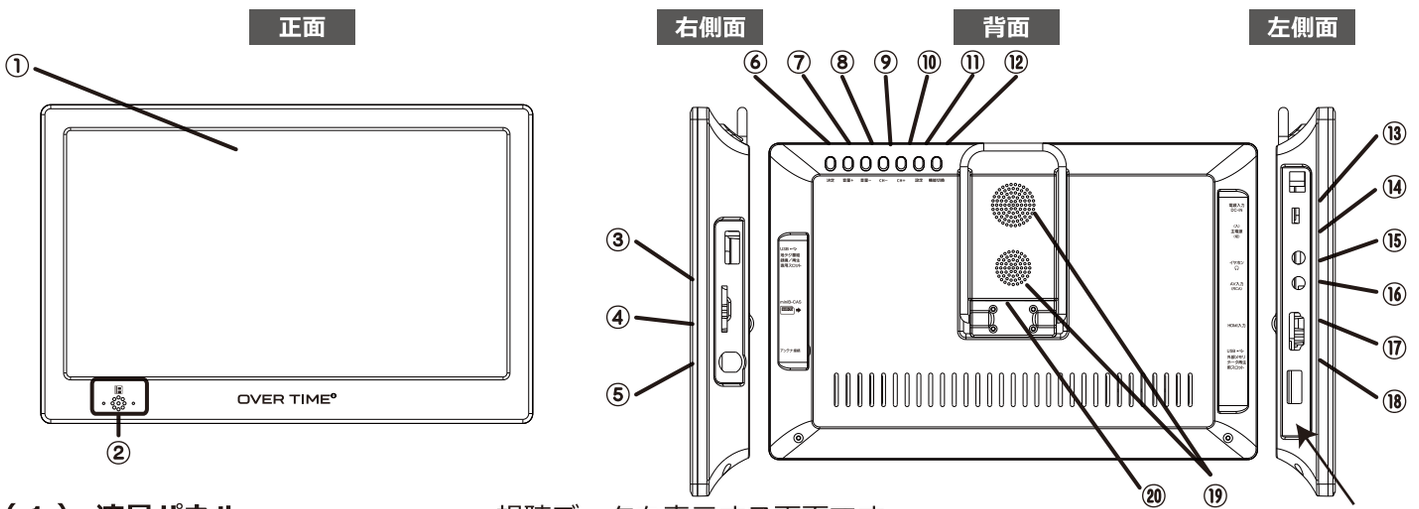
・梱包箱や副資材他は差しつえがなければ、なるべく保管されることをお奨めします・

準　備

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために必要なアンテナ接続方法、miniB-CAS カードの挿入方法、本製品の各部名称、主な機能、リモコンのボタンの説明などをご案内いたします。

各部の名称（本体）..... 7
テレビの設定 9
アンテナの接続 10
miniB-CAS カードの準備 11
電源コードをつなぐ 12
各部の名称（リモコン）..... 8
設置する 9
各端子部などの名称 11
リモコンの準備 12
電源を入れる 12

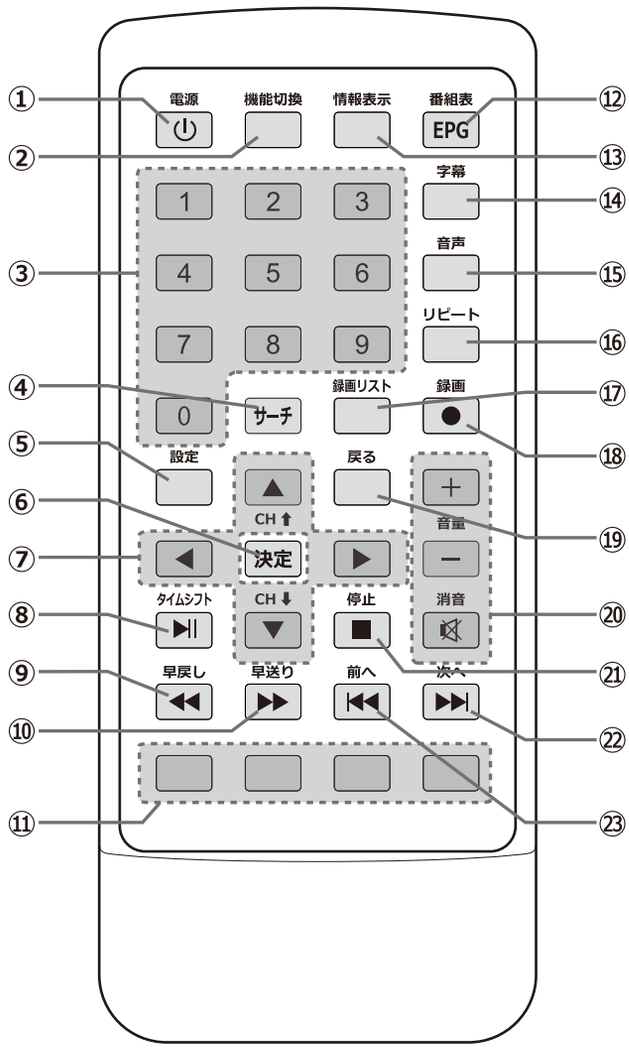
各部の名称（本体）



（１）液晶パネル …… 視聴データを表示する画面です。
（２）リモコン受光部 …… リモコンで操作する時、こちらの方向に向けて操作します。
表示ランプ …… 本体や内蔵電池の状態を表示します。（赤）：充電ランプ ／（緑）：電源ランプ
（３）地デジ録画用 USB 端子 …… 地デジ放送番組を録画用メモリーに録画する時や、録画データを視聴する時に使用します。 **テレビ番組録画専用**
（４）miniB-CAS カード挿入口 … 付属の miniB-CAS カードを挿入します。
（５）アンテナ入力端子 …… 地デジ放送用アンテナと接続します。
（６）決定 ボタン …… 選択した項目を決定／実行する時に使用します。
（７）音量（十）ボタン …… 音量の調整を行います。
（８）音量（ー）ボタン …… 音量の調整を行います。
（９）CH（ー）ボタン …… 視聴する番組を選局します。
（10）CH（十）ボタン …… 視聴する番組を選局します。
（11）設定ボタン …… 設定メニュー画面を表示します。
（12）機能切換ボタン …… 視聴するデバイスを選択します。
（13）DC 電源入力端子 …… 電源アダプター（AC ／ DC）の端子部を挿入します。
（14）主電源スイッチ（入／切） … 本体主電源の ON ／ OFF を行います。
（15）イヤホン出力端子 …… イヤホンで音源を視聴する時に使用します。
（16）AV 入力端子 …… 外部機器（DVD プレーヤーなど）から RCA 入力する時に使用します。
（17）HDMI 入力端子 …… 外部機器（DVD プレーヤーなど）から HDMI 入力する時に接続します。
（18）データ再生用 USB 端子 …… 音楽や動画のデータを視聴する時に使用します。 **外部データー再生専用**
（19）スピーカー部 …… 音声を出力します。
（20）設置用スタンド …… 本機を立て掛けて設置する際に使用します。

各部の名称（リモコン）

※ご注意：本書に掲載している画面・イラストなどは機能等を説明する為のものであり、実際の表示とは多少異なる場合があります。



1： 電源ボタン

本体電源のオン／オフを切り換えます。

2： 機能切換ボタン

画面表示するデータを切り換えます。
（DTV→AV 入力→HDMI 入力→USB メモリ⏎）

3： 数字ボタン

チャンネル選局や設定時の数字入力時に使用します。

4： サーチボタン

本体に接続したアンテナで受信可能な放送番組を
登録する／登録しなおす時に使用します。

5： 設定ボタン

設定メニューを表示します。
（再度押すとメニュー画面が消えます）

6： 決定ボタン

選択した項目を決定／実行します
テレビ番組視聴中に押すと登録された放送局が表示されます。

7： 十字ボタン（▲▼◀▶）

設定や番組表のカーソル移動を行います。
テレビ視聴中は▲▼で表示番組を切り換えます。

8： タイムシフトボタン

テレビ番組視聴中にタイムシフト機能を使用します。
録画データや外部メモリー内データの再生／一時停止を行います。

9： 早戻しボタン

録画データや外部メモリー内データの早戻しを行います。

10： 早送りボタン

録画データや外部メモリー内データの早送りを行います。

11：〈赤〉〈緑〉〈黄〉〈青〉ボタン

番組表使用時や録画データ再生時に使用します。

12： EPG 番組表ボタン

視聴中チャンネルの EPG 番組ガイドを表示します。

13： 情報表示ボタン

テレビ番組視聴中：「1 回押す：番組名表示」
「2 回押す：詳細情報表示」
外部メモリ（USB/SD）データ再生中：操作ガイド表示

14： 字幕ボタン

字幕放送視聴時の字幕設定を行ないます。

15： 音声ボタン

音声設定を行ないます。（主／副／主＋副音声）

16： リピートボタン

外部メモリデータのリピート設定を行ないます。

17： 録画リストボタン

録画したデータリストを表示します。

18： 録画ボタン

視聴中チャンネルをダイレクトに録画します。

19： 戻るボタン

操作項目を戻る時に使用します。

20： 音量ボタン（+/－/ 消音）

音量を調整／消音する時に使用します。

21： 停止ボタン

再生中の録画データや外部メモリー内データを停止します。

22： 次へボタン

再生中データの一つ後のデータに移動します。

23： 前へボタン

再生中データの一つ前のデータに移動します。

テレビの設定

●テレビの設定手順

安全に品質を維持した状態で本製品をご利用いただくために、下記の設定・接続が必要となります。

1．設置する
↓
2．アンテナを接続する
↓
3　外部機器と接続する（※ある場合のみ）
↓
4．miniB-CAS カードを差し込む
↓
5．リモコンの準備をする
↓
6．電源コードを接続する
↓
7．電源を入れる
↓
8．チャンネルを設定する

設置する

安全に本製品をご利用いただくために下記注意事項を守って設置してください。

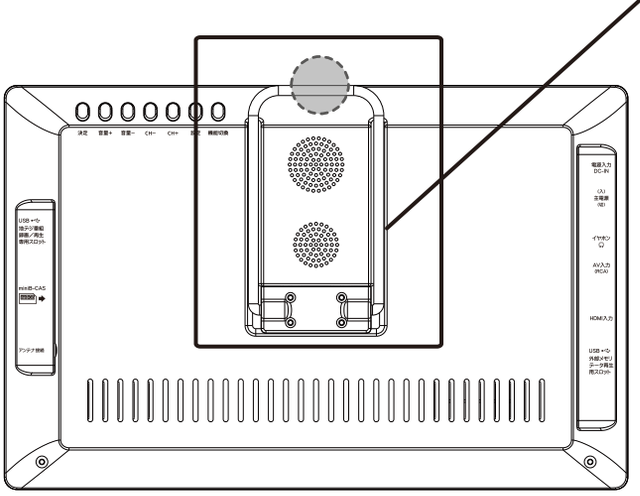
⚠ 注 意

●極端に温度や湿度が高いまたは低い場所に設置しないでください。

●本製品を車載する場合は付属の車載用バッグを使用してください。

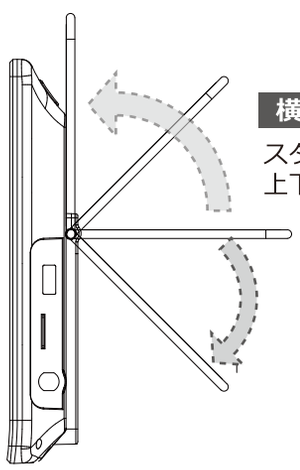
（!!）運転中の本製品の操作や視聴は、 事故などの原因となる場合があり大変危険です。 絶対に行わないでください。

背面



設置用スタンドは本体背面にあります。

○部分からスタンドアームを引き出します。
（据置き設置の場合は角度を調整します）
（壁掛け設置の場合は上まで引き上げます）



横から見た場合 ...

スタンドアームは
上下に約150°動きます

アンテナの接続

本製品では地上デジタル放送が受信できます。本製品を安全に品質を維持した状態でご利用いただくためには、下記の確認と設定が必要です。

●アンテナについてのご注意

UHF アンテナ（地上デジタル用）が設置されているかをご確認ください。UHF アンテナが設置されていない場合、地上デジタル放送はご覧になれません。UHF アンテナのご購入・設置については、電気店や専門の設置業者にご相談ください。

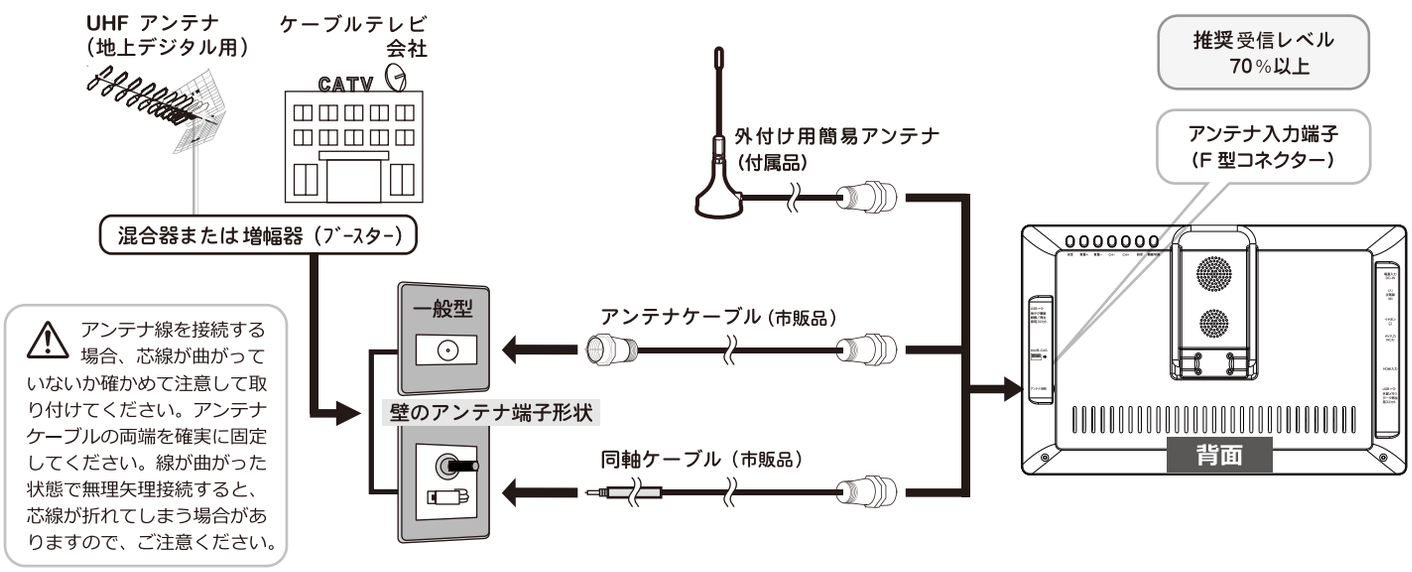
※設置されたアンテナの受信レベルが弱い（低下）場合、画面にモザイク状のノイズが入ったり、画面が表示されずに音声のみになるなどの症状が出る場合があります。この場合、アンテナの取換えや設置位置の調整・ブースター（電波増幅器）の増設などが必要になる場合があります。

※集合住宅などでブースター等を増設する場合、他の部屋に影響がでる可能性がありますので、事前に管理者とご相談ください。

⚠ 注 意 **【CATV（ケーブルテレビ）で地上デジタル放送をご視聴されるお客様へ】**

各ケーブルテレビ会社によって伝送方式や接続方法が異なる場合があります。
詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問合せください。

●接続方法



⚠ 注 意 室内側(壁)のアンテナ端子形状の確認と接続

●室内側（壁）のアンテナ端子形状の確認

本機を設置する環境により壁側アンテナ端子部の形状が異なりますので、接続時に使用するアンテナケーブル（市販品）の端子形状にご注意ください。
（本体側の端子部形状は F 型コネクターです）

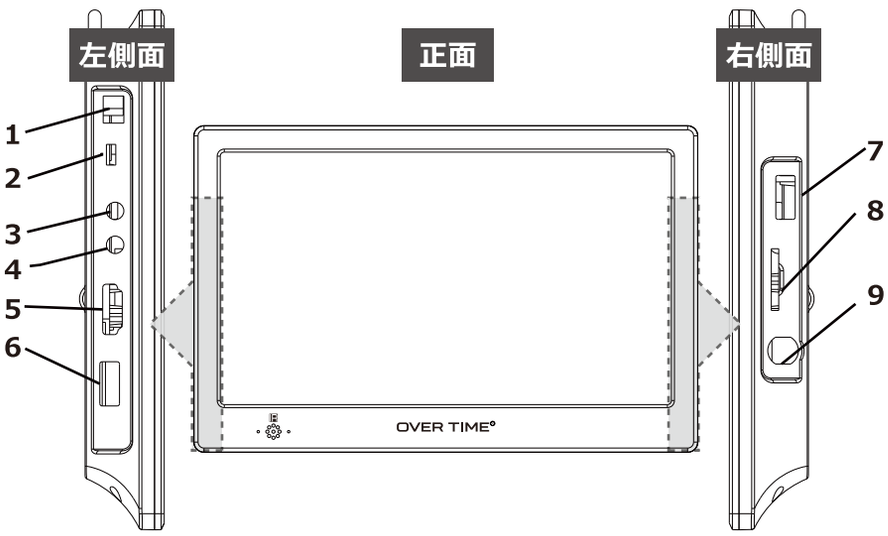
●室内側（壁）のアンテナ端子と本機アンテナ端子との接続

上図を参照に室内（壁）のアンテナ端子とアンテナケーブル（市販品）を接続してから、本機アンテナ端子部にしっかり接続してください。

テレビの視聴につきましてのご注意：テレビ電波受信につきましては地域 (電界値) やアンテナ等、受信可能な環境のもとでないと視聴できません。弊社では受信保証はしておりませんので、よろしくお願いいたします。

各端子部などの名称（本体側面部）

本体の左右側面にあるスイッチや端子の名称です。アンテナや外部機器と接続する際は各機器に対応した各端子と接続してください。

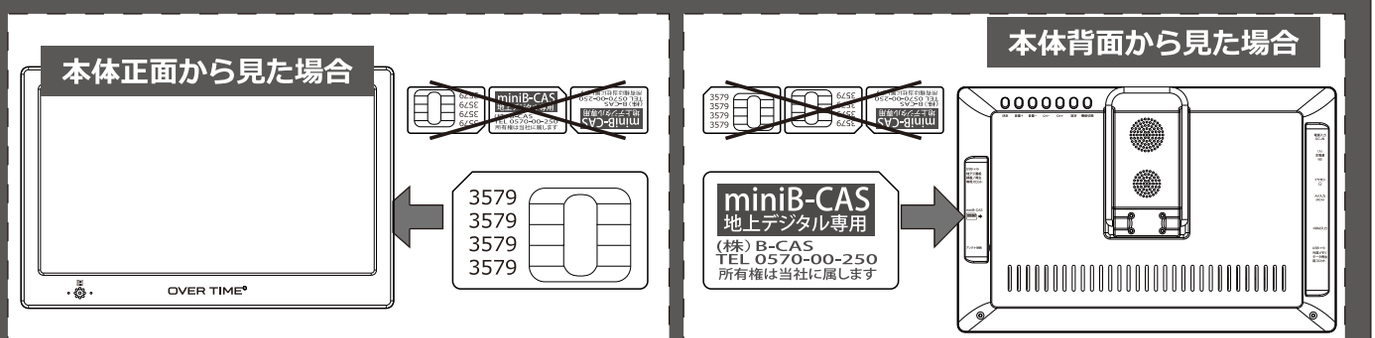


（１）DC 電源入力端子
（２）主電源スイッチ
（入／切）
（３）イヤホン出力端子
（４）AV 入力端子
（５）HDMI 入力端子
（６）USB 入力端子
（* 外部データ再生用）
（７）USB 入力端子
（８）（* 地デジ番組録画用）
miniB-CAS カード挿入口
（９）アンテナ入力端子

miniB-CASカードの準備

地上デジタル放送を視聴する場合、miniB-CAS カードの常時挿入が必須です。下図を参照の上、カードの向きに注意しながら正しく挿入してください。

●miniB-CAS カードの正しい挿入方向：
カードの「角欠け部分」を上に向け、「角欠け部分」から挿入してください



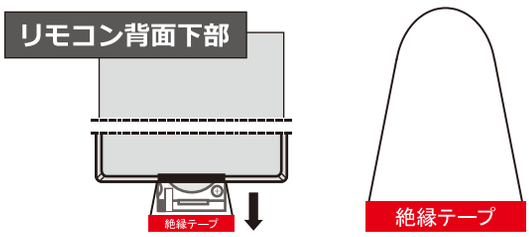
●挿入の方法
・miniB-CAS カードの挿入方向を確認し、「カチッ」と音がなるまでまっすぐに押し込んでください。
・miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。
（カードの挿入／取出しをする時は、急に指を離さないでください）

⚠ 注 意
●カードの抜き差しは本機を電源コンセントからを外した状態で行ってください。
●miniB-CAS カードスロットにはカード以外の物を挿入しないでください。
●miniB-CAS カードの IC（集積回路）部には手を触れないでください。

※miniB-CAS カードの取扱いにつきまして、詳しくは miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。
※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などについてのお問合せ先：
㈱ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ／ B-CAS カスタマーセンター　TEL：0570-000-250

リモコンの準備

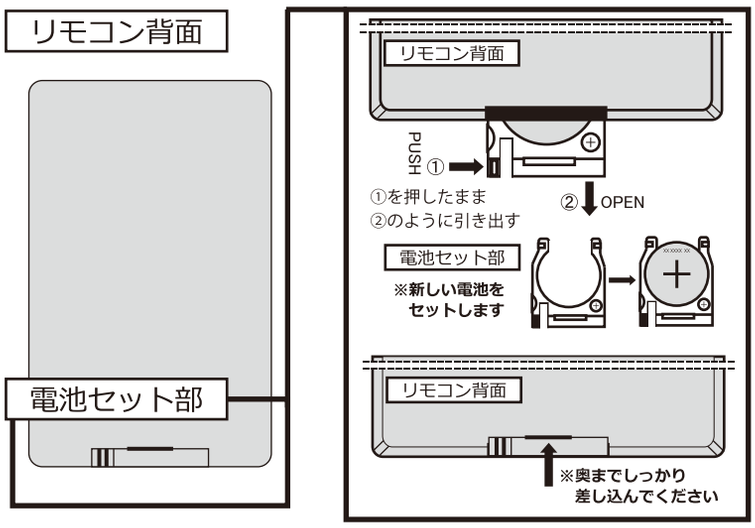
リモコンを使用可能な状態にします。以下をご参照ください。



※はじめてご利用される際は図のような絶縁テープが電池セット部に差し込まれています。
電池セット部を引き出して絶縁テープを外してからご使用ください。

■電池交換の方法

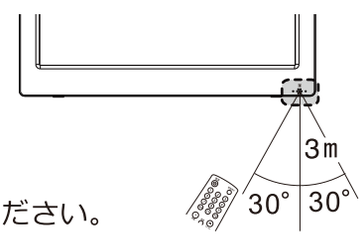
1. 電池セット部分のツメを右に押したまま電池セット部を引き出す。
2. 古い電池を取り出して、新しい電池に交換する。（+/−の向き注意）
3. 電池セット部分を奥まで正確に差し込む。



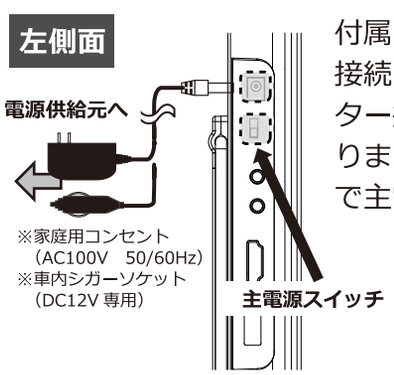
※本機リモコン用の電池は「CR2025」型です。別途電池をご用意する際は型番をご確認の上お買い求めください。
※リモコンに初期セットされている電池はテスト用のものですので、別売新品の電池と早めに交換してください。
※電池交換の作業を行う際は、電池セット部のツメ折れや傷などにご注意ください。

■リモコンの基本的な使い方

- リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本製品のリモコン対応範囲は距離 3m 以内／左右 30°以内です。（右図参照）
- リモコンと本体リモコン受光部の間に物などを置かないようにご注意ください。



電源コードをつなぐ / 電源を入れる



付属品の電源アダプター（ＡＣアダプターまたは車載用ＤＣアダプター）と本体を接続し、コンセント側またはＤＣ１２Ｖシガーソケットと接続します。電源アダプター接続後、本体に正しく通電されると、充電ランプ（赤）が点灯して充電が始まります。（充電中：点灯／満充電時：消灯）通電中または充電池に蓄電された状態で主電源を入れると、電源ランプ（緑）が点灯して本体が起動します。



⚠ 注意

- 本体起動後、画面が表示されるまで数秒かかります。
- 本機を長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを抜いてください。

チャンネルの初期設定

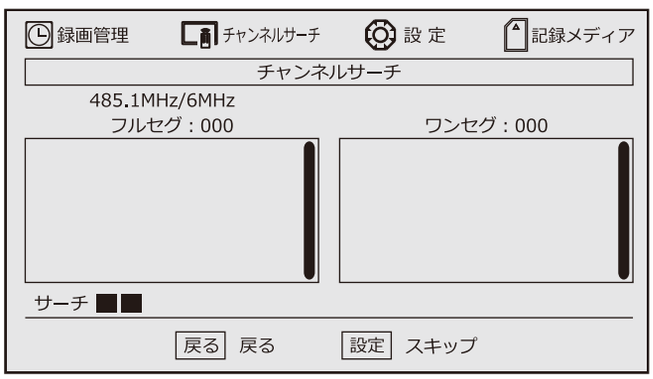
本機をご購入後に初めて起動させると、画面に＜インストールガイド表示＞または＜チャンネルサーチの開始＞となります。下記を参照に本機へのチャンネルの登録を完了させてください。

⚠ ●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。
①電源プラグが正しく接続されていること　②アンテナ線が正しく接続されていること
③miniB-CAS カードが正しく挿入されていること

⚠ 本製品に同梱されている外付けアンテナは**屋外用**の簡易アンテナです。チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、特に初回時のチャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナとの接続の上、設定・登録してください。　（※本機とアンテナとの接続方法は P10 をご参照ください）

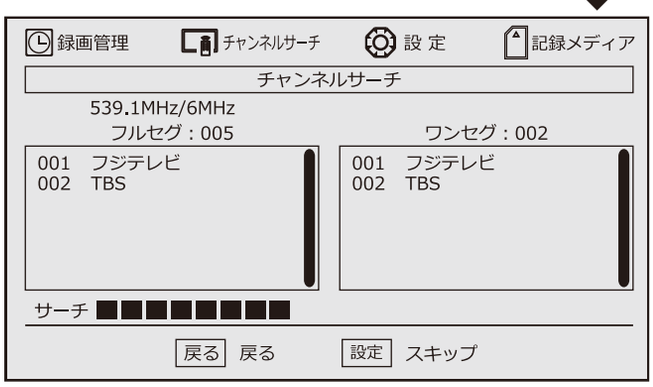


＊電源を入れるとシステム起動中 (左図) の表示後、＜インストールガイドの表示＞または＜チャンネル自動検索の開始＞となります。（※機種により異なる）
＜インストールガイドの表示＞の場合：リモコン「決定」を押してください。
＜チャンネル自動検索の開始＞の場合：スキャン終了までお待ちください。

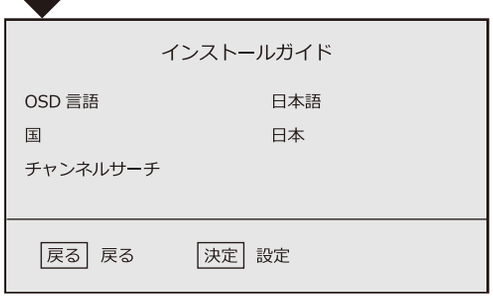


チャンネル受信成功／登録中

※本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ／ワンセグの項目にチャンネルが追加登録されていきます。



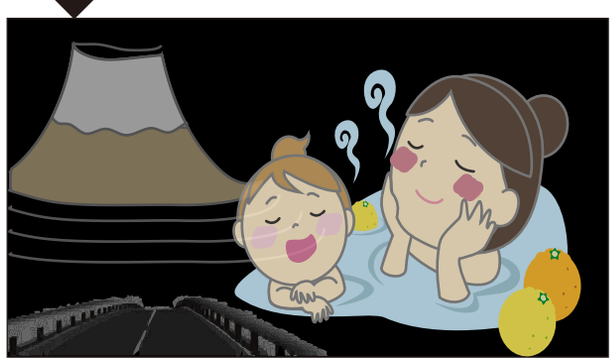
番組登録が失敗した場合



※
設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、インストールガイドに戻ります。下記をご確認の上、リモコンの決定ボタンを押して再度チャンネルスキャンを行なってください。

＊本機に正しく B-CAS カードが挿入されてますか？
＊本機と接続しているアンテナが地デジ放送の電波を受信できていますか？
（アンテナの設置位置などをご確認ください）

本機に番組が登録された場合



※
チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。
電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

チャンネル初期設定（続き）

＜設定しても放送が正しく映らない場合＞

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。
「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下を参照にご確認ください。

デジタル放送の受信方法の確認　　＜放送チャンネルが登録されない ...＞

■屋外アンテナの場合：

アンテナが地上デジタル放送受信対応の UHF アンテナ、または VHF/UHF 混合アンテナであるかどうかをご確認ください。
（詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。）

■ケーブルテレビの場合：

地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送（CATV）やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約の CATV 会社や共聴システムの管理者にご確認ください。

■本製品同梱の簡易アンテナの場合：

付属の外付けアンテナは、強電界地域の屋外での用途向けに作られた簡易的なサービス品です。ブースター（電波増幅装置）機能などは付いておりませんので、中／弱電界地域や屋内などで使用した場合、正しく電波を受信できない場合があります。このような場合、市販品などの室内用アンテナやブースター内蔵アンテナなどを別途ご用意の上、ご利用ください。
（詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。）

ヒント ☞**アンテナの底面は磁石になっていますので付属の台座、缶、金属物に着けることで受信レベルは上がります。**
電波が悪い場所では受信設定の自動からワンセグにすることで受信レベルは上がります。

デジタル放送の受信レベルの確認　　＜CH 登録は成功したが、画像が乱れる・音しか出ない ... など＞

＊＜アンテナ受信レベルの確認方法＞を参照に受信感度をご確認ください。（* 詳細 P15 参照）

■30%未満の場合：

「アンテナの設置位置が悪い」「受信電波が弱い」「電波障害が起きている」などの可能性があります。
この場合、お近くの電気店やアンテナ設置業者・共同アンテナの管理者や CATV 会社などにご相談ください。

■50%以上の場合：アンテナ線などの接続に間違いはありませんか？ご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

地デジ受信方法の確認

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切換える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルが低い場所に設置した場合、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り換わり、その都度画面がフリーズなどを起こす場合があります。
このような場合は設定メニューから受信切替を行い、ワンセグ受信に固定することで解消されます。

＊操作方法：　リモコンの「設定」でメニューを表示　→　「◀ ▶」で「設定」に移動
→　「▲▼」で受信切替に移動　→　「◀ ▶」でワンセグを選択
→　「設定」または「戻る」で番組視聴に戻る　→　変更した設定が反映されます

⚠ ワンセグ放送は小型携帯端末 (5inch 前後) 向けの伝送データ量の少ない放送波の為、本機でワンセグ放送を視聴した場合、フルセグ放送と比べると画質が粗くなります。故障ではございませんので予めご了承ください。

チャンネルの初期設定（続き）

<アンテナ受信レベルの確認方法>

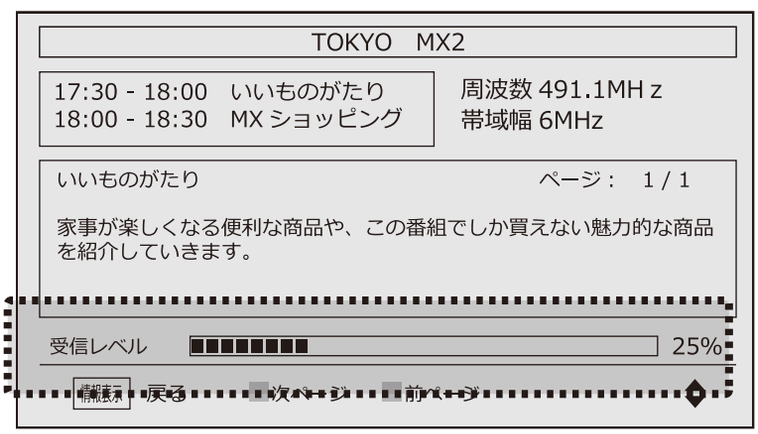
1. リモコンの「決定」ボタンを押してチャンネルリストを表示する。
（リスト表示時：「◀ ▶」でワンセグ放送／フルセグ放送に切り換わります）

2. 受信レベルを確認したい放送局にカーソルを合わせ、リモコンの「決定」ボタンを押す。
（表示チャンネルが切り換わります）

3. リモコンの「情報表示」ボタンを 2 回押し、放送チャンネルの詳細情報を表示する。
＊ページ下部に受信レベルのステータスバーが表示されますのでご確認ください。

※ リモコンの「情報表示」または「戻る」ボタンで番組視聴に戻ります。





⚠ 注 意　●アンテナレベルが低いと「テレビ視聴ができない」「画面が乱れる」「音声しか出ない」など様々な症状が起きる場合があります。安定して地デジ番組をお楽しみいただくためには、十分な受信レベル（推奨：70%以上～）を確保できる場所へアンテナの設置・方向の調整を行ってください。

※屋外アンテナの設置位置や方向などの調整は、高所での作業となる為大変危険です。アンテナ設置業者や電気店などへご相談いただくことをお勧めします。

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信／視聴はできません。
※建造物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、など電波の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。
※デジタル放送では受信レベルが下がると、映像が止まる、ブロックノイズが出る、音声しか出ない、音声が途切れる、などの症状が起こる場合があります。また、移動中に受信している場合は、静止中の受信に比べ受信範囲が狭くなるため、正しく受信出来ない場合があります。
※次の放送は受信／視聴できません。<地上アナログ放送> <BS/CS 放送> <データ放送> <緊急警報放送>
※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。
※その他の症状が起きた場合は、本書巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

テレビを視聴する

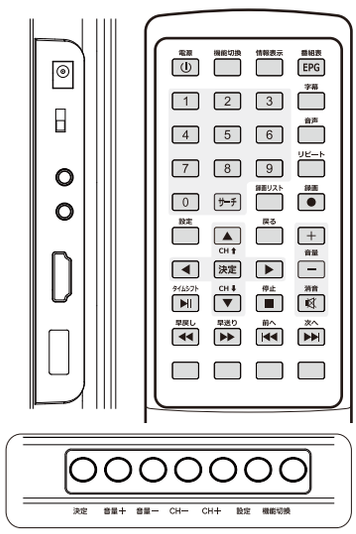
以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについての説明などをご案内いたします。

基本的な使い方 ..... 16　　電子番組ガイド（EPG）を使う 18

基本的な使い方

本体の主電源を入れる／切る

■本体左側面の「主電源スイッチ」で ON ／ OFF に切り換えます。



リモコンで電源を入れる／切る（待機状態）

■本体の主電源を ON にした状態でリモコン「電源」ボタンを押します。

※電源ランプ表示：電源 ON 状態…電源ランプ <緑>
電源 OFF（または待機）状態…電源ランプ <消灯>

地デジ放送を選ぶ

■外部機器から地デジ放送に切り換える時は、リモコンの「機能切換」ボタンを押し入力ソース「DTV」を選択後、リモコンの「決定」ボタンを押します。

※「機能切換」：<DTV> ▲▼ <AV> ▲▼ <HDMI> ▲▼ <USB>

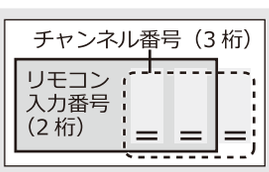
視聴チャンネルを選局する

■リモコンまたは本体の「CH+(−)」ボタンを押すとチャンネルサーチで登録されたチャンネル主番号 * の順に、チャンネルが切り換わります。

＊本書ではチャンネル番号（3 桁）の下 1 桁の数字が「1」の番号を「主番号」と呼びます（例：051 ／ 081 など）

■リモコンの「数字」ボタン（2 桁）を押すと指定したチャンネル（主番号）に切り換わります。

■番組視聴中にリモコンの「決定」ボタンを押すとチャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。（チャンネルリスト表示）
「▲」「▼」で視聴したいチャンネルを選択し「決定」を押すと選択した番組に切り換わります。



<操作例>
チャンネル番号 [021] を選局する時はリモコンの数字ボタンを「0」→「2」の順に押します。
※チャンネル番号 [023] を選局する時は、「決定」でチャンネルリスト表示後、「▲」「▼」で [023] を選択します。

（ご注意）チャンネルサーチで本機に登録されていない放送は視聴できません。登録漏れなどがあった場合は本書アンテナの接続（P10）をご確認の上、正しく接続してから再度チャンネルサーチを行ってください。

※チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ／ワンセグ放送の選択ができます。

音量を調節する／消す（消音機能）

■調節する：リモコンまたは本体の「音量 +」「音量ー」ボタンで音量を調節します。

■消音する：リモコンの「消音」ボタンを押すと消音状態に切り換わります。
消音状態で同ボタンを押すと消音状態が解除されて音が出ます。

お知らせ

リモコンや本体のボタン操作などを立て続けに行なうと、内部システム起動用の CPU やメモリーが誤作動したりフリーズする場合があります。
この場合は一度、本体の「主電源スイッチ」で本体電源を OFF にして操作メモリーをリセットすることで改善する場合があります。
（改善しない場合は、<設定> メニューから <工場出荷時設定> に移動後、本体システムを工場出荷状態に戻してください）

基本的な使い方（続き）

字幕設定の切換え／音声設定の切換え

■字幕設定の切換：リモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕オン／字幕オフに切り換わります。
■音声設定の切換：リモコンの「音声」ボタンを押すと音声切換メニューが表示されます。
「▲▼◀▶」で音声／主音声／副音声を選択後、「決定」を押して選択を確定します。
選択確定後に「戻る」を押すと番組視聴画面に戻ります。
※字幕設定／音声設定は視聴中の番組により選択や操作ができないことや、設定が反映されないことがあります。

テレビ番組視聴時の情報表示

■テレビ番組を視聴中にリモコンの「情報表示」ボタンを 1 回押すと視聴中番組の簡易情報を表示します。
※簡易情報はしばらくすると消えます



■上記簡易情報表示中に更に「情報表示」ボタンを 1 回押すと視聴中番組の詳細情報を表示します。
※「✪項目」はワンセグ放送受信時は詳細表示されず、スキャン中と表示されます



※番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
※番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。

電子番組ガイド（EPG）を使う

■テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと視聴中放送局の番組ガイドが表示されます。
※番組ガイドに関する詳細は P18 ～をご参照ください。

「録画」に関する機能を使用する

■市販の USB メモリー等を別途ご用意の上、録画専用スロットに正しく挿入することで、録画機能を使用することができます。
※録画・予約に関する詳細は P19 ～をご参照ください。

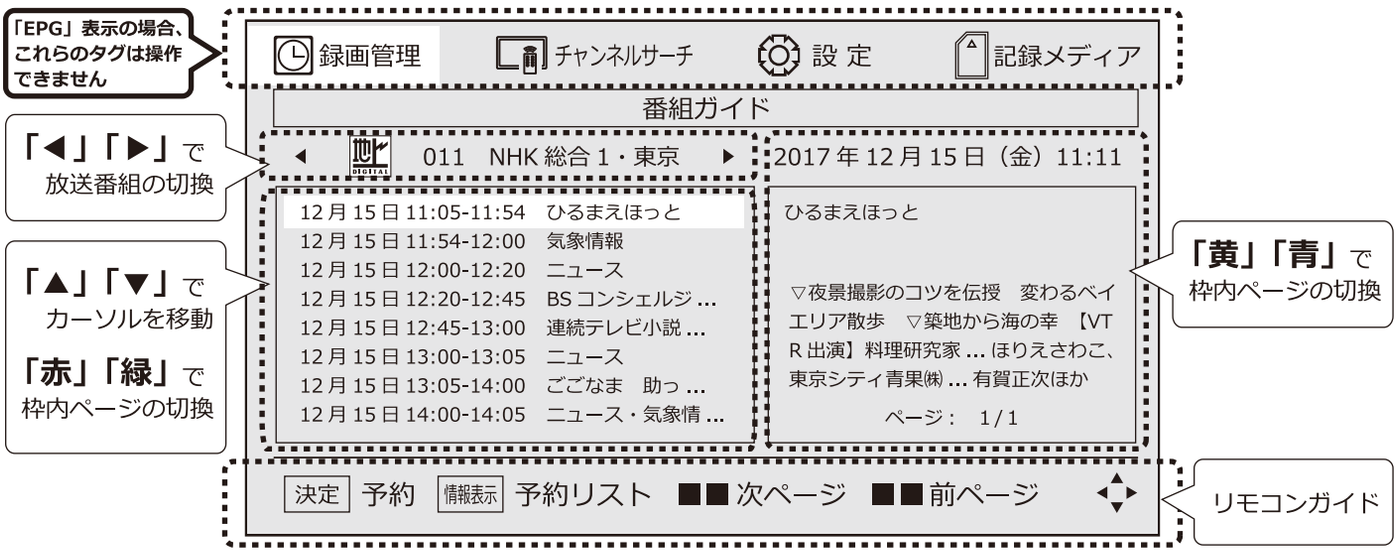
本体設定メニューを表示する

■テレビ番組を視聴中にリモコンの「設定」ボタンを押すとテレビ用設定メニューが表示されます。
メニュー表示後、「▲」「▼」「◀」「▶」「決定」「戻る」ボタンを主に使用して様々な設定を行ないます。
※設定メニューに関する詳細は P25 ～をご参照ください。

電子番組ガイド（EPG）を使う

番組ガイド（EPG）の見方

■テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと視聴中放送局の番組ガイドが表示されます。



●番組ガイド表示時のリモコン操作：
*[◀][▶]：視聴 (表示) チャンネルの切換え　　*[▲][▼]：画面左側のカーソル移動
*[決定]：カーソルで選択した番組の録画を予約　　*[赤][緑]：画面左側のページを切換え
*[黄][青]：カーソルで選択した番組の情報ページ（画面右側）を切換え
*[情報表示]：録画予約した番組のリストを表示　　*[戻る]：前の操作に戻る

⚠ 注 意
※各放送番組の番組表を取得 / 表示できるまでは、時間がかかる場合があります。
（ご購入後すぐの起動時や再スキャンした後の番組表取得は、特に時間がかかる場合があります。）
※番組の中止 / 変更 / 延長などによって、実際の放送内容が番組表とは変わるまたは、異なる場合があります。

番組ガイドから録画予約する

①「EPG」を押して番組ガイドを表示します。
②「◀」「▶」で録画したいチャンネルに切り換えます。
③「▲」「▼」「赤」「緑」で録画したい番組にカーソルを合わせます。
④「決定」を押すと右図のような画面に切り換わります。
⑤ 各タグが録画したい事項と一致しているかを確認してから
「決定」を押すと録画予約が設定されます。
※録画用スロットに USB メモリー等が挿入されていない場合、
<メモリー設備なし> と表示
※現在視聴中の番組を予約しようとすると <予約無効> と表示
⑥ 予約が設定されると予約リストが表示されます。
※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」
※番組ガイドに戻る場合は「戻る」





⚠ 注 意
※録画機能をご利用する際は、市販の USB メモリー等が必要です。電気店等で別途ご用意ください。
※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、
本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などは行なわれません。
このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集を行ってください。
※本機で録画したデータは他の機器では視聴再生できません。

※録画機能に関する詳細は P19 ～をご参照ください。

録画機能を使う

以下の項目は本機に搭載されている地デジ録画機能についての説明などをご案内いたします。

番組録画（予約）機能について..... 19
番組録画に関する各機能を使う..... 22
録画用外部メモリーの準備 20

番組録画（予約）機能について

録画機能をご利用いただく前に、下記をよくお読みになり正しくご理解の上、ご利用ください。

■本機は＜シングルチューナー＞搭載モデルです。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
■本機には録画用ディスク（メモリー）は内蔵されておりません。録画機能をご利用になる場合は、市販品の USB メモリー等を別途ご用意ください。（地デジ録画用スロット：USB メモリー：容量 256GB まで動作確認済／外付け HDD：500GB まで動作確認済）
（※データ転送方式が 2013 年現在の規格から変更された HDD では使用できない場合があります。）
■本機搭載の USB スロットで読込み可能なファイルシステム（ディスク形式）は【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読込みが可能です。exFAT 形式等には対応しておりません。特に大容量のメモリーや HDD をご使用される場合はファイルシステム形式をご確認いただき、本機非対応形式の場合はパソコンなどで形式変更してからご使用ください。
■本機に録画用として装着する USB メモリー等は、事前に試し録画を行い、正常に動作するかお確かめください。
■本機で録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）として保存されます。
■録画機能は入力ソースが「DTV（テレビモード）」でのみ利用可能です。録画機能を利用する際は入力ソースを外部入力に変更しないようにご注意ください。特に録画の予約を設定している場合、外部機器を利用中に録画予約を設定した時刻がきても、入力ソースは自動変更されない為、録画機能は実行できません。
■録画中に入力ソースを外部機器入力に切り換えると、システムが切り換わる為、録画が途中で強制終了します。
■録画中は、録画中のチャンネル以外の番組への切換えなどの操作はできません。
■何らかの理由（主電源が切れた、電波が途切れた、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
■番組ガイドは約 8 日後まで取得できます。番組ガイドで表示できない先の日付を予約する場合は指定録画で日付指定をしてください。
■同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
■本機で録画したデータはその他の再生機器では再生できません。また本機で録画したデータは本機でのみご視聴ください。
■コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを記録（録画）することはできません。本機で受信したテレビ放送の番組のみ録画が可能です。
■著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは絶対に行なわないでください。
■故障などの理由で本機を修理や交換した場合、以前に記録した録画データは視聴できなくなる場合があります。予めご了承ください。
■本機で録画した録画データは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画データを個人または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。

・録画した番組を自分のホームページや SNS などに載せる　　・録画した番組をメールなどで他人へ送る
・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す

■著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので、自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません。

⚠ 注意　※録画機能をご利用になる場合、録画用として別途市販などの USB メモリーや HDD が必須です。
録画用メモリーが正しく装着されていない場合、録画機能は利用できません。

⚠ 注意　※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。
この場合、他メーカーや型式のメディアで読込み可能かをお確かめください。
※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

（※録画用メモリーについての詳細は、P20 ～をご参照ください）

録画用外部メモリーの準備

録画機能を使用する場合、市販の USB メモリーや USB 外付け HDD が別途必要です。
電気店などで別途ご購入の上、ご用意ください。

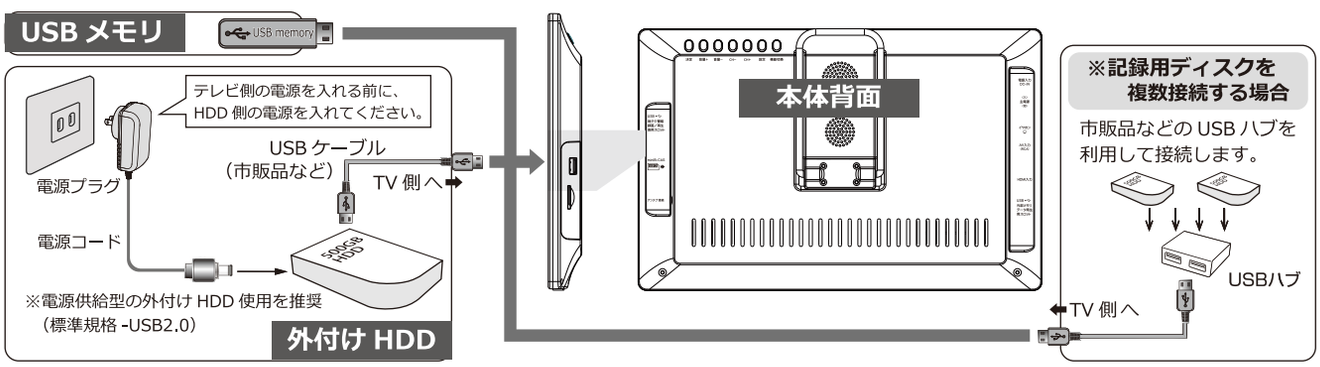
●別途必要なもの：□USB メモリーや外付け HDD などのデータ記憶装置
＊外付け HDD は次のものを推奨：●電源供給型　●標準規格 -USB2.0　●容量：～ 500GB
●USB容量推奨～256GB

＜大容量メモリー（32GB 以上）をご利用される場合＞

■本機の USB スロットで認識可能なファイルシステムは【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読込みが可能です。大容量タイプのメモリーや HDD の場合、購入初期時のファイルシステムが exFAT 形式や NTFS 形式であることが多い為、ディスク購入後すぐに本機と接続しても正常に認識しない場合などがあります。この場合は、パソコンなどで、購入されたディスクのファイルシステムを FAT32 形式にフォーマットしてから本機と接続してください。（HDD のフォーマット等につきましては各 HDD 製造メーカー等にお問合せください）
※フォーマットの手順例は本書33ページを参照してください

接続のしかた

本体左側面の「USBポート」にUSBメモリーやHDDを接続します。

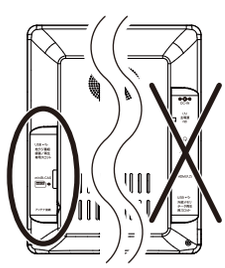


お知らせ

- ●USB ハブを使用することで、同時に 2 台までのディスクの接続が可能です。
- ●外付けディスクをフォーマットする時は、必ずテレビと 1 対 1 で接続してください。
- ●本機に接続する外付けディスクのメモリー容量は、500GB までのディスクを推奨いたします。

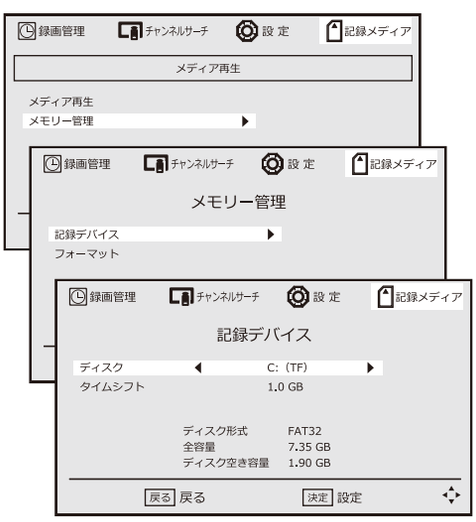
⚠ 注 意

※録画用スロットに正しく装着してください。
（データ再生用スロットに装着しても地デジ録画機能は利用できません）
※パソコンなどその他の機器で使用していたUSB メモリー等を本機で使用した場合、保存していたデータなどは消去される場合があります。
※本機で録画保存したデータは他の機器で視聴・再生は行わないでください。



メディアの状態を確認する

下図を参照に、装着した 録画用メモリーの状態が確認できます。



① リモコンの「設定」を押して設定メニューを表示します
②「◀」「▶」で記録メディアにカーソルを合わせます
③「▲」「▼」でメモリー管理にカーソルを合わせて「決定」を押します
↓（メモリー管理画面に移行）
④「▲」「▼」でカーソルを記録デバイスに合わせて「決定」を押します
⑤ 記録デバイスの状態が表示されます
⑥「▲」「▼」「◀」「▶」で各カーソル移動／
「決定」で各項目を設定／「戻る」で前の画面に戻ります

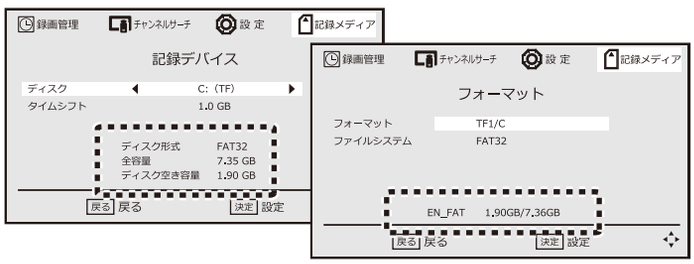
・タイムシフト：タイムシフト機能に割り当てる容量を設定します
（タイムシフト機能については P24 ～をご参照ください）

＊「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で認識できていない」場合、「メモリーデバイスがありません」と表示されます

録画用外部メモリーの準備（続き）

メディアの状態を確認する（続き）

装着した録画用メモリーが正しく認識されない場合、下記ご確認ください。



① メモリー管理画面から、
<記録デバイス> または <フォーマット> に移行。

② 枠内の情報を確認してください。

※点線枠内に現在装着中の録画用ディスクの状態が表示されます。

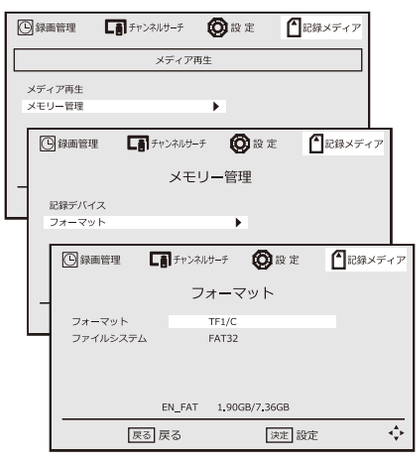
＊本機で読込み可能な形式のディスクの場合、<ディスク形式> <ディスク全容量> <ディスク空き容量> が正しく表示されます。
（※FAT16 形式の場合、ディスク形式などは表示されますが、本機では非対応形式の為、使用することはできません）
（※exFAT 形式の場合、<ディスク形式：NTFS> <ディスク全容量：0MB> <ディスク空き容量：0MB> などと表示され正しく認識できず使用できません。

⚠ 注 意

■ファイルシステム形式にご注意ください。（非対応形式のディスクは読み込みできません）
■地デジ録画機能を使用する際はディスク空き容量にご注意ください。
※ディスク空き容量が少ない場合、録画の予約ができません。また予約を設定して予約時間になった状態でディスク空き容量が足りない場合、予約はキャンセルされて録画されません。
※ディスク空き容量が 10MB を切ると全ての録画機能が使用できなくなります。この場合は「新しいメモリなどを別途ご用意いただく」「装着しているカードを再度フォーマットする」などしてディスクの空き容量を確保してください。（＊ フォーマットは実行後、以前のデータが全て消えます）

録画用メモリーをフォーマットする

下図を参照に、録画用メモリーを FAT32 形式にフォーマットします。



① リモコンの「設定」を押して設定メニューを表示します
②「◀」「▶」で記録メディアにカーソルを合わせます
③「▲」「▼」でメモリー管理にカーソルを合わせて「決定」を押します
↓（メモリー管理画面に移行）
④「▲」「▼」でカーソルをフォーマットに合わせて「決定」を押します
↓（フォーマット画面に移行）
⑤「決定」を押すと最終確認が表示されます
⑥「決定」で初期化／「戻る」で初期化をキャンセルします

＊「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で 認識できていない」場合、「メモリーデバイスがありません」などのエラーが表示されます

⚠ 注 意

※フォーマットを実行すると、カード内に保存していたデータは全て消去されます。カード内に必要なデータがある場合、フォーマット実行前にパソコンやその他のメモリーなどに移動・保管してください。
（データ消去等などによる損害などについて当社は一切その責任を負いません）

容量と録画時間

本機で地デジ番組を録画する場合の大まかな目安です。

フルセグ録画	＊番組データ 1 秒あたり約 1.7MB の場合 ≒ 容量 1GB あたり約 10 分間録画可 **空き容量 15GB の録画用メモリーを使用すると、合計約 2.5 時間分の番組を録画可**
ワンセグ録画	＊番組データ 1 秒あたり約 0.04MB の場合 ≒ 容量 1GB あたり約 7 時間録画可 **空き容量 15GB の録画用メモリーを使用すると、合計約 100 時間（4 日分）の録画可**

※大まかな目安です。放送番組のデータ量などにより変化しますので予めご了承ください。

⚠ 注 意

※外部メディア（USB メモリーなど）はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。この場合、他メーカーや型式のUSB メモリーなど で読込み可能かをお確かめください。
※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

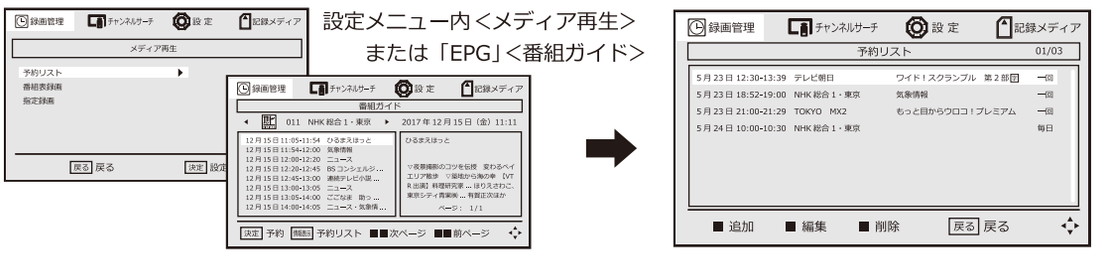
番組録画に関する各機能を使う

録画設定の優先順位について

録画機能の作動優先順位は以下の通りです。

「予約録画」 ＞ 「ダイレクト録画」（タイムシフト機能含む）

＊「予約録画」とは番組表録画および指定録画で録画の予約を設定したものを指します。
録画予約を設定した日時や番組は＜予約リスト＞から確認や編集ができます。



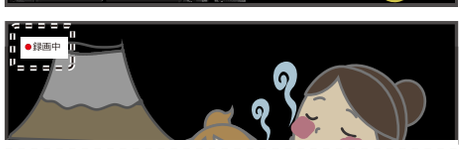
＊録画予約を設定すると予約の設定が最優先設定となります。予約を設定した日時になると、「ダイレクト録画」で録画中やタイムシフト機能を利用中でも、自動で予約設定したチャンネルに切り換わり録画が始まります。

⚠ 注 意 ※録画用メモリーの容量が一杯の場合は録画されませんのでご注意ください。

視聴中の番組を録画する（ダイレクト録画）

現在視聴中のテレビ番組を録画する方法です。





① 番組視聴中にリモコンの「録画」ボタンを押します。
② 画面中央に「レコーダー開始中、お待ちください」と表示後、録画が始まります。
③ 録画を停止する場合は、リモコンの「設定」または「停止」を押します。

＊ 録画用メモリーの空き容量が足りない場合、
「ディスク容量が満杯です、お待ちください」と表示され録画されません

＊ 録画中は画面左上に「録画中」と点滅表示されます。

日時を指定して録画予約する（予約録画）



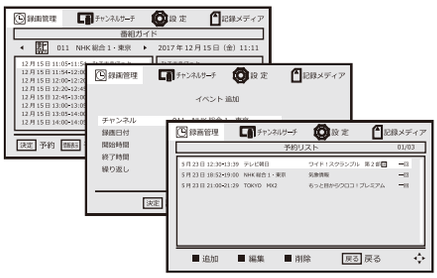




① リモコン「設定」を押して設定メニューを表示。
② 上段カーソルを「◀」「▶」で録画管理に合わせ「▲」「▼」で下段カーソルを指定録画に移動して「決定」。
③「▲」「▼」「◀」「▶」「数字ボタン」で予約録画したい放送局や日時を設定して「決定」。
④ イベント追加画面が表示されたら各項目を確認して「決定」。
⑤ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。
※予約リストが表示されたら設定を確認して「戻る」
※そのまま別の指定録画設定を行なう場合は「赤」
※リスト上の設定を編集したい場合はカーソルを合わせて「緑」
※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」

番組録画に関する各機能を使う（続き）

番組ガイドから録画予約する（予約録画）



① リモコン「EPG」で番組ガイドを表示。
②「▲／▼／◀／▶／赤／黄」で予約したい番組名に移動して「決定」。
③ イベント追加画面が表示されたら各項目を確認して「決定」。
④ 予約設定が成功すると予約リストが表示されます。



※<設定メニュー> → <録画管理> → <番組表録画> で、
番組ガイドの表示や録画予約も可能です。

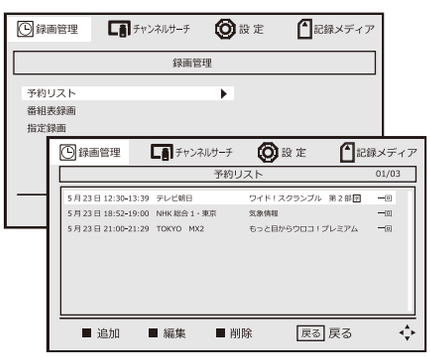
⚠ 注 意

※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などは行なわれません。
このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集を行ってください。

（例）
10:00 ～ 11:00 までの放送局 <A> の番組 <B> を番組ガイドから予約
→前の放送が急遽 10:30 まで放送延長になった為、番組 <B> は 10:30 からの繰り下げ放送になった
＊本機では予約時に設定した放送局 <A> の 10:00 ～ 11:00 の放送が録画がされます

予約の確認・編集（予約リスト）

予約設定の確認や編集は予約リストから行います。



■予約リストを表示する
①リモコン「EPG」を押す（番組ガイド表示） → 「情報表示」を押す
② <設定メニュー> → <録画管理> → <予約リスト> を選択

■予約リストから確認や編集・削除などを行います。
＊「赤」：リスト外の他の日時指定予約を追加します
＊「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動します
＊「緑」：カーソルで選択した予約の設定を編集します
＊「青」：カーソルで選択した予約の設定を削除します
＊「戻る」：一つ前の画面に戻ります

録画したデータの再生・削除

録画したテレビ番組データの再生や削除する方法です。

■リモコン「録画リスト」を押すと
録画したデータのリストが表示されます。



■録画リストから再生や削除したいデータを選択・実行します。
＊「▲」「▼」：リスト内のカーソルを移動
＊「決定」：カーソル移動したデータを実行（再生）
＊「タイムシフト」：再生中データの一時停止／再生
＊「停止」：再生中データの停止
＊「◀◀」「▶▶」：再生中データの早戻し／早送り
（押すごとに x2→x4→x8→x16→x32→解除⏎）
＊「⏮」「⏭」：再生中データの前データへ／次データへ移動
＊「赤」：画面サイズの切換え（全画面表示⇔プレビュー表示）
＊「青」：再生データの再生開始時間の設定（ワープ機能※）

＊「緑」：再生中データの手動コマ送り
＊「設定」：一つ上のフォルダへ移動
＊「戻る」：テレビ放送視聴に戻る

※ワープ機能：録画データのスタート時間を指定して移動する機能です。
（例）録画時間 1 時間のデータで、40 分 10 秒後にスタート時間を指定して移動

<録画データを削除する> ■録画リスト内の削除したいデータにカーソルを合わせ「黄」を押します。
※「黄」を押すとデータ左側に☑が付きます
→ 「決定」を一度押すと削除するか選択画面表示（決定／戻る）
→ 決定を選択して「決定」を押すとデータ削除が実行されます

⚠ 注 意 ※一度削除したデータを復元することはできません。

タイムシフト機能を使う（便利機能）

＜タイムシフト機能とは ...＞

番組視聴中に「タイムシフト」を一度押すと押したところで放送が一時停止！停止した場面の続きから録画用メモリーに録画していきます。再度押すと一時停止した場面の続きから視聴しているように感じる機能です。

【こんな時に便利】 ・好きな番組を視聴中「ちょっと用足しに行かないと」...
・ドラマなどのクライマックスシーンで「宅配便で～す！」...

リモコン「タイムシフト」ボタンを押すと機能がスタートします

タイムシフト機能で使うリモコンボタンは「タイムシフト」「停止」「決定」「戻る」です。

＊タイムシフト機能の設定：

●機能で使うメモリー容量の設定：

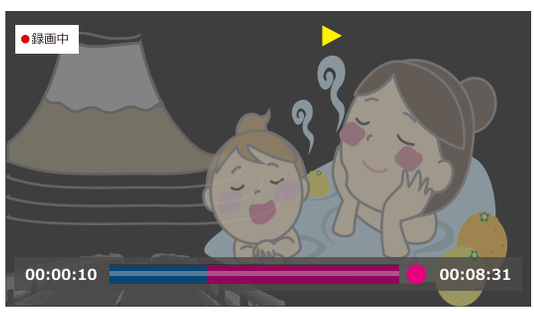
＜設定メニュー＞ → ＜記録メディア＞ → ＜メモリー管理＞ → ＜記録デバイス＞ → ＜タイムシフト＞

「◀／▶」（0.5GB ／ 1.0GB ／ 1.5GB ／ 2.0GB ／ 2.5GB ／ 3.0GB ／ 3.5GB ／ 4.0GB から選択）

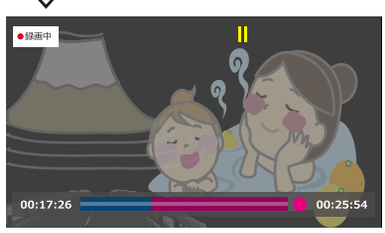
■番組視聴中に「タイムシフト」を押すと ...



放送が一時停止状態になり
・画面左上に＜録画中＞
・画面中央右に＜一時停止マーク＞



一時停止状態の続きからデータ再生
・画面左上に＜録画中＞
・画面中央右に＜再生マーク＞
・画面下部に＜再生／録画バー＞



放送が一時停止状態になり
・画面左上に＜録画中＞
・画面中央右に＜一時停止マーク＞
・画面下部に＜再生／録画バー＞

＊＜再生／録画＞ステータスバー



＊トータル時間表示：録画機能スタートから現在までの時間を表示します
＊一時停止／再生時間表示：機能スタートから何秒 (分 / 時間) 後に一時停止したか、または再生しているかを表示します
＊使用容量表示：設定したメモリー容量の中で、録画で使用中の容量（赤）と再生して空いた容量（青）を表示します
※一時停止状態で放置しておくと青で表示されている空き容量がだんだん減っていきます
空き容量が無くなると続きからの放送視聴はできなくなります

■タイムシフト機能を終了する場合　：　リモコン「停止」→「決定」 で通常のテレビ視聴に戻ります。

⚠ 注意

※録画用スロットに録画用メモリーが正しく挿入されていない場合や本機が認識できない場合、ディスクの空き容量が少ない（10MB 以下）の場合、録画に関する機能を使用しようとするとエラー表示が出て設定ができません。（＜メモリー設備なし＞ ＜予約無効＞など）
エラー表示の原因をご確認の上、再度設定を行なってください。

⚠ 注意

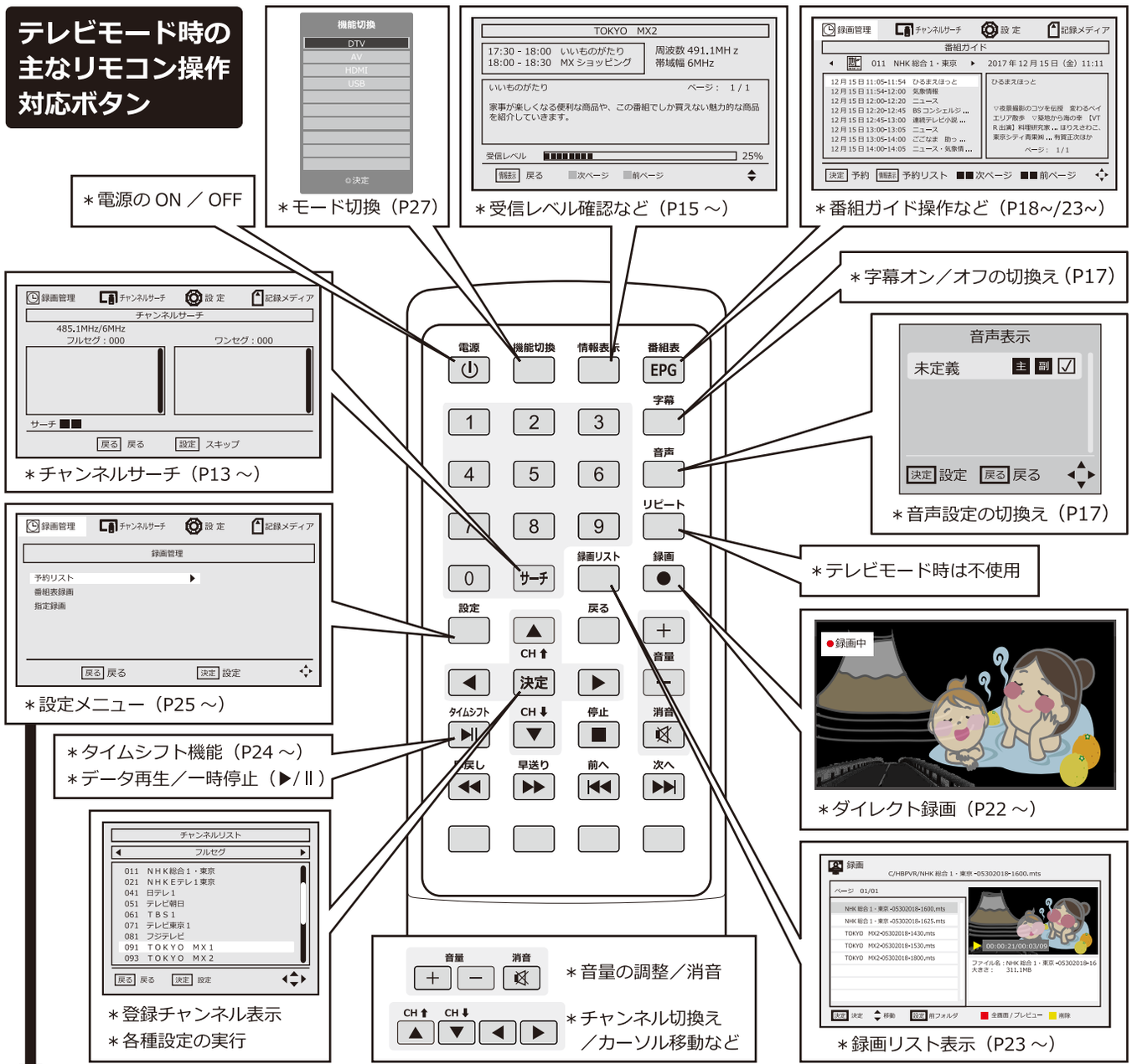
※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

（※録画用メモリーについての詳細は、P20 ～をご参照ください）

テレビモード時のリモコン操作／各種設定

以下、テレビ（DTV）モード時の主なリモコン操作や画面表示上メニューから行える各設定項目の詳細などについての説明をご案内いたします。

テレビモード時の主なリモコン操作対応ボタン



設定メニュー

■録画管理：① 予約リスト→予約リスト表示
② 番組表録画→番組ガイド表示
③ 指定録画　→予約指定設定表示

■チャンネルサーチ：自動スキャン（受信番組登録）

■設定：① 解像度（表示解像度を選択：480i ／ 480P ／ 720P ／ 1080i ／ 1080P ＊初期値は 1080P）
② 受信切換（自動／ワンセグ／フルセグ　＊初期値は自動）
③ 工場出荷時設定（工場出荷状態に設定を全てリセットします）
④ デバイス情報（システム情報の表示）
⑤ ファームウェア更新　※通常時は使用しません

■記録メディア（録画用 USB スロットにセットした録画用メモリ のデータ管理）：
① メディア再生（録画リストを表示）
② メモリー管理（録画用メモリ の管理設定画面を表示）
※詳細は P20 ～「録画用外部メモリの準備」をご参照ください

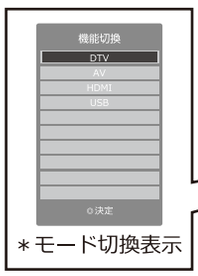
赤 緑 黄 青 ＊番組ガイド／録画リスト／他のメニューの操作で使用
（使用する場合は画面上に都度対応ボタンの色が画面上に表示されます）

録画リスト タイムシフト 停止 戻る 設定 早戻し 早送り 前へ 次へ 赤 緑 黄 青
＊番組録画データの操作は上記の各ボタンを使用します。

テレビモード時の本体設定

テレビ（DTV）モード時に映像画質や音質などをお好みの設定に変更したい場合に行なう操作方法についての説明をご案内いたします。

①リモコンの【機能切換】ボタンを押すと右図「モード切換タグ」が画面に表示されます。

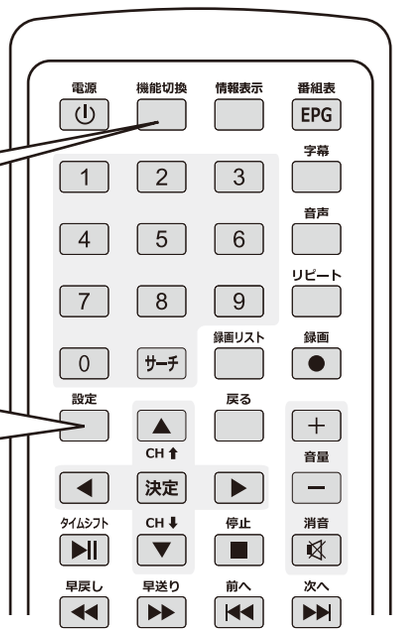


＊モード切換表示

②「モード切換タグ」が表示された状態でリモコンの【設定】ボタンを押すと、右図「本体設定メニュー」が画面に表示されます。



＊本体設定メニュー



③「本体設定メニュー」で表示されている各項目を下記リモコンボタンでお好みの設定に変更することが可能です。

【▲】【▼】【◀】【▶】：カーソル移動	【決定】：実行（一つ先の選択肢に進む）
【設定】：一つ前の選択肢に戻る	【戻る】：本体設定メニューを閉じる

本体設定メニュー

■映像：
① 画面モード選択（標準／ソフト／ユーザー／ダイナミック）
② コントラスト（0～100）
③ 明るさ（0～100）
④ 色彩（0～100）
⑤ シャープネス（0～100）
⑥ 色調（0～100）
⑦ 色温度（標準／暖色系／寒色系）　※低いと暖色系、高いと寒色系になります。
⑧ アスペクト比（自動／4:3／16:9）　※リモコンの「画面サイズ」ボタンと同じ機能です。
⑨ ノイズリダクション（標準／切／弱／強／自動）

※②から⑥の設定を任意で変更すると、画面モード選択は【ユーザー】に変更されます。
※②から⑥の設定はメインの画面を確認しながらおこないます。リモコンの「設定」ボタンで元のメニュー画面に戻ります。

■音声：
① 音声モード選択（標準／音楽／映画／スポーツ／ユーザー）
② 高音（0～100）
③ 低音（0～100）
④ バランス（-50～0～+50）
⑤ 自動ボリューム（オフ／オン）
⑥ サラウンド（オフ／オン）

※②から④の設定を任意で変更すると、音声モード選択は【ユーザー】に変更されます。

■時間：
① 日時設定（設定の順番は、日・月・年・時・分）
② オフタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土・日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
③ オンタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土・日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
④ スリープタイマー（オフ／ 10 分／ 20 分／ 30 分／ 60 分／ 90 分／ 120 分／ 180 分／ 240 分）
⑤ オートスリープ（なし／ 4 時間／ 6 時間／ 8 時間）

■設定：
① 言語／ Language（日本語／英語）
② 工場出荷時設定（実行しますか？「はい／いいえ」）

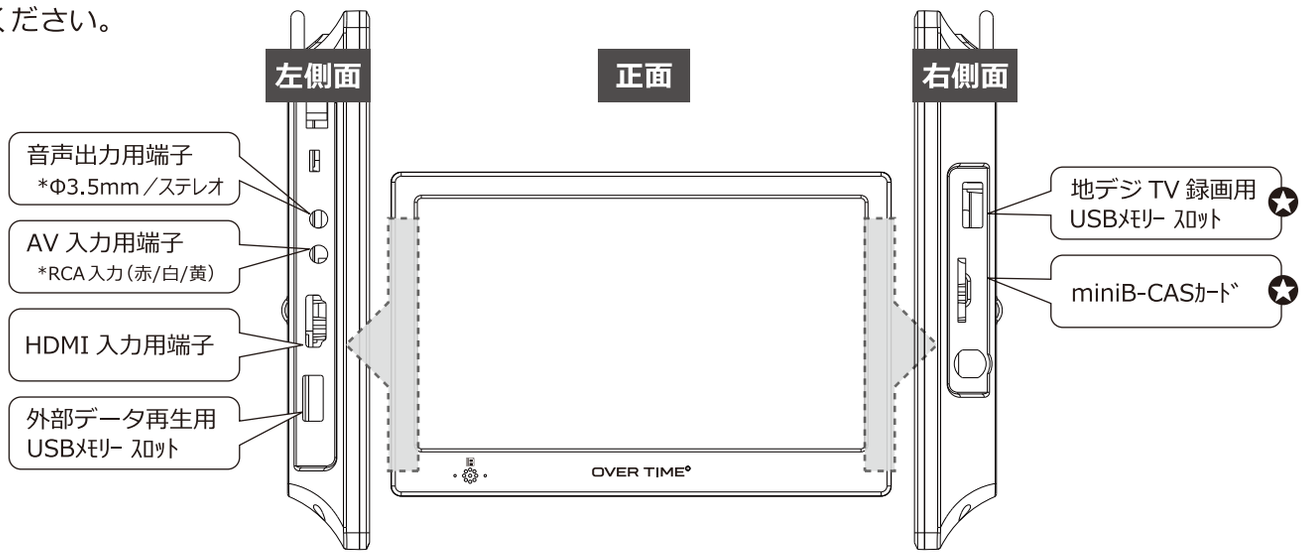
付加機能を使う

以下の項目は本機に搭載されている付加機能（外部メモリーデータ再生機能やモニター機能など）についての説明などをご案内いたします。

外部機器と接続する ..... 27　　外部メモリーデータの再生 28

外部機器と接続する

外部機器と接続する場合、本体側面の各端子と接続します。接続したい外部機器に対応した各端子に接続してください。



ご注意）✪ マークの挿入口はテレビ機能用のスロットです。外部機器やデータは再生できません。

●外部データ再生用USB スロット：
市販の外部メモリー（USB メモリーや HDD など）に、パソコンなどから取り込んだ音楽や動画のデータを本機で視聴・再生する際に使用します。　※データ再生機能の詳細は P28 ～をご参照ください。

●AV 入力用端子：　付属の AV ケーブルを使用して外部機器と RCA 接続する際に使用します。

●HDMI 入力用端子：　市販の HDMI ケーブルを使用して外部機器と接続する際に使用します。
（本機への入力専用端子です。本機から外部機器へのデータ出力はできません）
（HDMI ケーブルは付属しておりません。別途電気店などでご用意ください）

☞**パナソニックのレコーダーで音声が出ない現象は初期音声設定でデジタル出力にしてください。詳しくはメーカーに問合せください。**

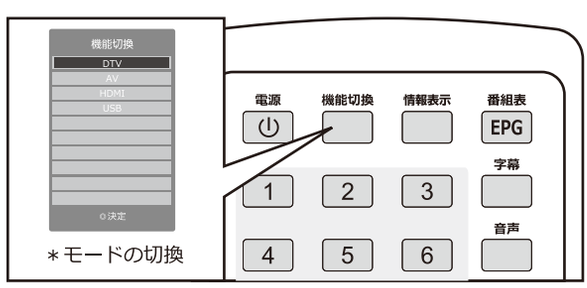
●音声出力用端子：　イヤホンや外付けスピーカーなどの外部機器と接続する際に使用します。

✪録画用 USB スロット：　テレビ番組の録画機能に関する専用のスロットです。こちらのスロットにパソコンなどから取り込んだデータの視聴・再生はできません。

✪miniB-CAS カードスロット：miniB-CAS カードは地デジ放送（フルセグ）を視聴する際に常時挿入が必須のカードです。
（miniB-CAS カードの準備に関しては P11 ～をご参照ください）

入力ソース（モード）を切り換える

■リモコン「機能切換」を押す
→　外部機器のモード切換え表示（※数秒で消えます）
→　「▲／▼」で使用する外部機器にカーソルを移動して「決定」
→　接続した各外部機器からの入力ソースに切り換わります



＊モードの切換

⚠ 注意　※「AV」モードおよび「HDMI」モードにすると本機は外部機器からの入力ソースのモニターとして作動します。外部機器の操作などは本機ではできません。

外部メモリーデーターの再生

本機には静止画や動画などを再生するソフトを搭載しています。
外部メモリーデータ再生用スロット側に USB2.0 メモリーや HDD を接続し、入力モードを切り換えると搭載ソフトが起動してメモリー内に保存されているデータの再生などが行えます。

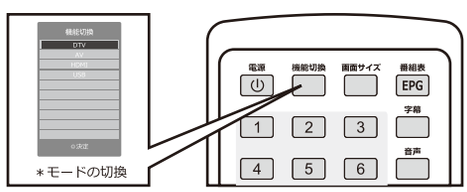
■再生可能なファイル形式：
＊静止画 (拡張子）: JPEG(.jpg)/BMP(.bmp)
＊動画（拡張子）: MP4(.mp4)/ WMV(.wmv)/AVI(.avi) /3GP(.3gp)
＊音楽（拡張子）: MP3(.mp3)/WMA(.wma)/WAV(.wav)/AAC(.m4a/.aac など)
＊テキスト（拡張子）: テキストファイル（.txt）

⚠ 注意
※上記ファイル形式でも高画質（高解像度）データや圧縮率・コーデックの不一致などで映像が出ない／音が出ない／読み込みできないなどが起こる場合があります。**注:全てのファイル再生の保証はしておりません。**
※記録された順序で再生されない場合があります。また記録状況により音飛びや読み込まない場合があります。

⚠ 注意
■本機と接続して使用される外部メモリーのファイルシステム形式にご注意ください。
※本機で使用可能な外部メモリー（USB メモリーや HDD など）は <FAT32 形式> または <NTFS 形式> でフォーマットされたメモリーのみ使用できます。（FAT16 形式や exFAT 形式のメモリーは使用できません）

⚠ 注意
※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式などによっては認識されない場合があります。この場合、他メーカーや型式の外部メディアで読込み可能かをお試しください。
※外部メディアについての動作保証やサポートは行っておりません。予めご了承ください。

メモリー内のデータを再生する／削除する



① 本機の <外部メモリデータ再生用スロットにデータが保存されたメモリーを接続します。

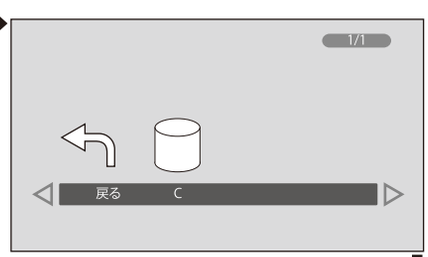
② リモコン「機能切換」でモードを【USB】に切り換えます。

③ USB モードに画面を切り換えた後、
「◀」「▶」で再生したい項目に移動して「決定」を押します。

＊選択項目：静止画ファイル再生　／　音楽ファイル再生
／動画ファイル再生　／　テキストファイル表示

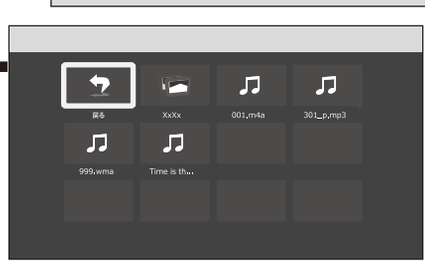


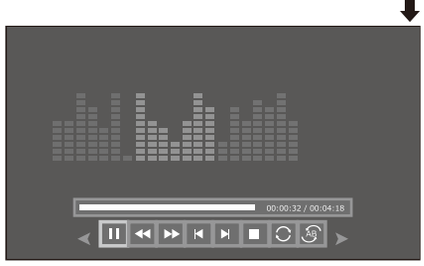
④ 再生する項目を選択後「決定」を押すとデバイス項目に移動します。（＊選択項目：一つ前へ　／　[C]　）
[C] を選択して「決定」を押すと読込 み可能なデータ（またはフォルダ）が表示されます。



⑤ 再生したいデータにカーソルを移動するとプレビュー画面でデータが再生されます。「決定」を押すと画面が切り換わり、本再生がスタートします。

＊再生を停止する場合は「停止 (■)」
＊一つ前に戻る場合は「戻る」





外部メモリーの再生（続き）

データ再生時の操作 ＜操作バー＞

データ再生中に、リモコン「情報表示」を押すと、
画面に＜操作バー＞が表示されます。＜操作バー＞
からデータの再生や一時停止などの操作が行えます。



＜静止画ファイル再生＞



- ▶(⏸) 再生／一時停止　（＝【タイムシフト】ボタン）
- ⏮ 前のデータへ移動　（＝【前へ】）
- ⏭ 次のデータへ移動　（＝【次へ】）
- ■ 再生停止　（＝【停止】）
- リピート再生設定　（＝【リピート】）　※<None>：無 → <1>：1 ファイルリピート → <ALL>：全ファイルリピート ⏎
- 音楽設定　※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択
- プレイリスト：静止画（画像）ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- インフォメーション：再生中データの情報表示
- 90 度右回転：画像を 90 度右へ回転
- 90 度左回転：画像を 90 度左へ回転
- 拡大ズーム：最大 8 倍拡大表示
- 縮小ズーム：最小 1/4 倍縮小表示
- ※Move View（※本機では使いません）

＊操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

＜音楽ファイル再生＞



- ▶(⏸) 再生／一時停止　（＝【タイムシフト】ボタン）
- ◀◀ 早戻し　（＝【早戻し】）※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ⏎
- ▶▶ 早送り　（＝【早送り】）※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ⏎
- ⏮ 前のデータへ移動　（＝【前へ】）
- ⏭ 次のデータへ移動　（＝【次へ】）
- ■ 再生停止　（＝【停止】）
- リピート再生設定　（＝【リピート】）　※<None>：無 → <1>：1 ファイルリピート → <ALL>：全ファイルリピート ⏎
- A to B リピート：セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
  ※セットなし →【決定】：A 地点セット →【決定】：B 地点セット＆リピート設定 → セットなし ⏎
- 消音ミュート設定　（＝【消音】）
- プレイリスト：音楽ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- インフォメーション：再生中データの情報表示
- 検索時間入力設定：データの再生スタート時間を設定

＜動画ファイル再生＞



- ▶(⏸) 再生／一時停止　（＝【タイムシフト】ボタン）
- ◀◀ 早戻し　（＝【早戻し】）※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ⏎
- ▶▶ 早送り　（＝【早送り】）※再生 / x2/ x4/ x8/ x16/ x32 ⏎
- ⏮ 前のデータへ移動　（＝【前へ】）
- ⏭ 次のデータへ移動　（＝【次へ】）
- ■ 再生停止　（＝【停止】）
- リピート再生設定　（＝【リピート】）　※<None>：無 → <1>：1 ファイルリピート → <ALL>：全ファイルリピート ⏎
- A to B リピート：セット地点 A から地点 B までの間をリピート再生させる設定機能
  ※セットなし →【決定】：A 地点セット →【決定】：B 地点セット＆リピート設定 → セットなし ⏎
- プレイリスト：動画ファイルとして認識したファイルをリスト表示
- インフォメーション：再生中データの情報表示
- スロー再生：【決定】を押すごとにスロー再生＆倍速切換え　※再生 / x2 / x4 / x8 / x16 ⏎
- ステップ再生：【決定】を押すごとにコマ送り再生
- 検索時間入力設定：データの再生スタート時間を設定
- 画面表示サイズ切換え：【決定】を押すごとに表示サイズ変更　※自動 / 16:9 / 4:3 ⏎

＊操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

＜テキストファイル再生＞

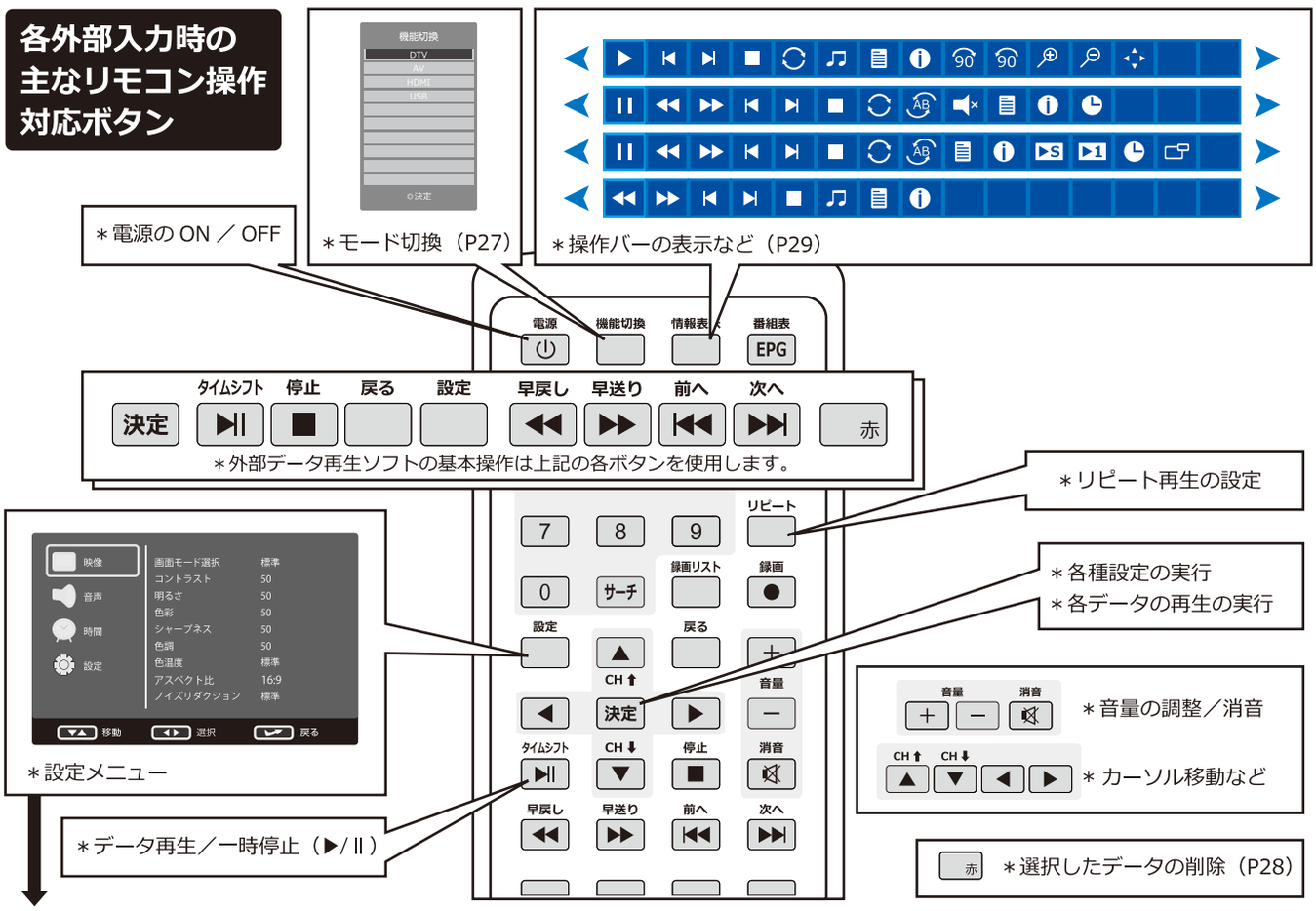


- ◀◀ 前のページへ移動　（＝【早戻し】）
- ▶▶ 次のページへ移動　（＝【早送り】）
- ⏮ 前のデータへ移動　（＝【前へ】）
- ⏭ 次のデータへ移動　（＝【次へ】）
- ■ 再生停止　（＝【停止】）
- 音楽設定　※メモリー内に音楽ファイルがある場合、背景音楽の有無を選択
- プレイリスト：テキストファイルとして認識したファイルをリスト表示
- インフォメーション：再生中データの情報表示

＊操作バー表示後に操作をしない場合、数秒すると操作バーは消えます。

不可機能使用時のリモコン操作／各種設定

以下、外部入力（AV/HDMI/USB）各モード時の主なリモコン操作や画面表示上メニューから行える各設定項目の詳細などについての説明をご案内いたします。



設定メニュー

■映像：
① 画面モード選択（標準／ソフト／ユーザー／ダイナミック）
② コントラスト（0～100）
③ 明るさ（0～100）
④ 色彩（0～100）
⑤ シャープネス（0～100）
⑥ 色調（0～100）
⑦ 色温度（標準／暖色系／寒色系）　※低いと暖色系、高いと寒色系になります。
⑧ アスペクト比（自動／4:3／16:9）　※リモコンの「画面サイズ」ボタンと同じ機能です。
⑨ ノイズリダクション（標準／切／弱／強／自動）

※②から⑥の設定を任意で変更すると、画面モード選択は【ユーザー】に変更されます。
※②から⑥の設定はメインの画面を確認しながらおこないます。リモコンの「設定」ボタンで元のメニュー画面に戻ります。

■音声：
① 音声モード選択（標準／音楽／映画／スポーツ／ユーザー）
② 高音（0～100）
③ 低音（0～100）
④ バランス（-50～0～+50）
⑤ 自動ボリューム（オフ／オン）
⑥ サラウンド（オフ／オン）

※②から④の設定を任意で変更すると、音声モード選択は【ユーザー】に変更されます。

■時間：
① 日時設定（設定の順番は、日･月･年･時･分）
② オフタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土･日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
③ オンタイマー（切／1回だけ／毎日／月～金／月～土／土･日／日曜のみ）選択後、【時間設定】
④ スリープタイマー（オフ／ 10 分／ 20 分／ 30 分／ 60 分／ 90 分／ 120 分／ 180 分／ 240 分）
⑤ オートスリープ（なし／ 4 時間／ 6 時間／ 8 時間）

■設定：
① 言語／ Language（日本語／英語）
② 工場出荷時設定（実行しますか？「はい／いいえ」）

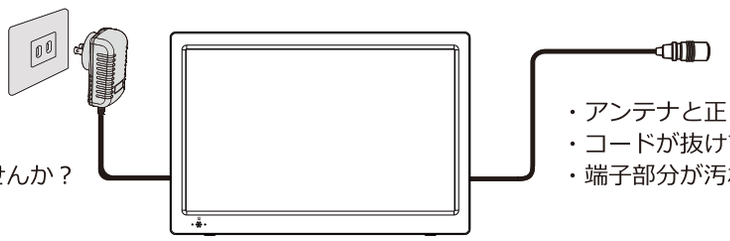
故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではない場合があります。修理・検査のご依頼前にもう一度ご確認ください。

【まずご確認ください】

「電源が入らない」「放送が映らない」などの場合は、まず電源およびアンテナの接続を確認してください。

・「電源プラグとコンセント」
「電源コードと本体」は
正しく接続されていますか？
・プラグやコードが抜けていませんか？



・アンテナと正しく接続されていますか？
・コードが抜けていませんか？
・端子部分が汚れていませんか？

【こんな場合は故障ではありません】

- ●液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.999% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。
- ●キャビネットから「ピシッ」というきしみ音がする場合があります。これは設置場所の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。
- ●本機は電源が「待機」状態のときに番組情報取得などの動作を行う為、内部から「カチッ」という音が聞こえる場合があります

動作がおかしい場合、まず再起動を試してください!

こんな場合は ...		こちらをご確認ください
電源	電源が入らない	・電源プラグ⇔コンセント／電源コード⇔本機が抜けていませんか？ ・内部処理を行っている時は操作の反応が遅い場合があります。 →この場合、約 1 分ほど待ってから再度電源を入れてください。
	急に電源が切れた	・オフタイマーが設定されていませんか？ →外部入力モードの設定メニューからオフタイマー設定をご確認ください。
リモコン	リモコン操作が できない	・リモコンの乾電池が消耗していませんか？ （付属の電池は試用に付き、ご購入後早めに新しい電池と交換してください ） ・乾電池のプラス／マイナスが逆になっていませんか？ ・リモコンをテレビ側リモコン受光部に正しく向けて操作していますか？ ・リモコンとテレビの間に遮蔽物はありませんか？
	CH＋/－ボタンで 特定のチャンネルが 選局できない	・チャンネル登録はされていますか？ →アンテナとの接続やアンテナの方向などをご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。 ※CATV やマンションの共聴システムをご利用の際はパススルー方式での受信に対応しているかご確認ください。
テレビを見ているとき	映像も音声も出ない	・アンテナ線が外れていませんか？ ・接続されていない入力先などに切り換えられていませんか？ ・外部機器との接続ケーブルが外れていませんか？
	映像は出るが、音声 が出ない	・消音状態になっていませんか？・音量が 0 になっていませんか？ ・イヤホン端子にイヤホンなどを接続していませんか？ ※HDMI 入力の場合、外部機器側の出力が映像のみの場合があります。
	外部機器を視聴中に 片側のスピーカーし か音が出ない	・音声に関係する入力端子の接続ケーブルが外れていませんか？ ・音声端子部がしっかりと挿入されているかご確認ください。
	音声に異音が入る 映像にノイズが出る	・本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ →無線機器類は本機と離してご使用ください。 ・アンテナの向きがずれていませんか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？→受信レベルをご確認ください。

パナソニック社製レコーダーで映像は出るが音声が出ない事象についての対応例：レコーダー側で ①リモコンのホームボタンを押す
②設定画面を選び決定ボタンを押す③初期設定を選び決定ボタンを押す④音声設定を選び決定ボタンを押す⑤デジタル出力を選び決定ボタンを押す
⑥Dolby Audio・DTS/DTS-HD・AAC 3 項目の設定をPCMに変更する⑦戻るボタンを押すと完了 ※それでも改善されない場合はメーカーに問合せ下さい

故障かな？と思ったら（続き）

こんな場合は ...		こちらをご確認ください
テレビを見ているとき	映像が悪い	・アンテナケーブル（元側／本機側）が外れていませんか？ ・アンテナケーブルの断線などはありませんか？ ・設置されているアンテナの向きがずれていませんか？故障していませんか？ ・近所で落雷や電波障害などは起きていませんか？ ・１本のアンテナ線を複数のテレビやチューナーなどに接続していませんか？ ・本機の近くで電磁波を発生させる電気製品を使用していませんか？ ・映像調整は正しく設定されていますか？ ・受信チャンネルは正しく設定されていますか？ ・チャンネルが変更されていませんか？ →製品出荷時以降にチャンネルが変更されている（放送局や中継局の増設等）場合は、チャンネルの再設定が必要になる場合があります。
	縦線状の妨害が出て見えない	・アンテナやアンテナ端子部分への妨害電波の影響が考えられます。 →アンテナケーブルは、同軸ケーブル（市販品）をお使いください。 →アンテナの高さや向きを調整すると、妨害電波をある程度抑えられます。 ・外部機器の映像を視聴している場合は、接続や設置場所をご確認ください。
	色が薄い 色合いが悪い	・旧アナログ放送時の番組の再放送を視聴される場合、画像が著しく悪く見える場合はあります。この場合、本製品の故障ではありません。 ・映像調整は正しく設定されていますか？ ・受信チャンネルは正しく設定されていますか？ ・各映像端子の接続は正しくつながっていますか？外れていませんか？
	デジタル放送が映らない	・miniB-CAS カードは正しく挿入されていますか？ →mniB-CAS カードを正しく挿入しないと、地デジ放送は視聴できません。 ・miniB-CAS カードの IC 部分が汚れていませんか？変形などしていませんか？ →IC 部分ときちんと接触しないと、本機がカードを認識できずに地デジ放送が視聴できません。miniB-CAS カードは丁寧にお取り扱いください。
	設置場所を変えたら（引っ越ししたら）視聴できなくなった ... など	・本機の設置場所を他のエリアに移動させた場合、改めて受信チャンネルを設定しなおす必要があります。本書「チャンネルの初期設定」をご参照の上、正しくチャンネル設定を行なってください。
	音声に異音が入る 映像にノイズが出る	・本機の近くで携帯電話などの無線機器を使用していませんか？ →無線機器類は本機と離してご使用ください。 ・アンテナの向きがずれていませんか？ ・受信電波信号が弱い状態ではありませんか？→受信レベルをご確認ください。
その他	番組の録画できない 録画データの視聴ができない ... など	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・録画用メモリーの空き容量は足りていますか？ ・保存されたデータが壊れていませんか？ ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。
	外部メモリーのデータが再生できない	・本機と接続した録画用メモリーのファイルシステム形式は本機に対応した形式になっていますか？ →本機対応ディスク形式：「FAT32」 ・保存されているデータが壊れていませんか？ ・外部データのファイル形式が本機に対応した形式で保存されていますか？ →拡張子：（.jpg）など ※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。

【ご確認ください】
その他症状などがでて、上記項目や本書内容をご確認しても症状が改善されない場合、一度「工場出荷設定」を行い、本体システムをリセットしてみてください。（参照／ TV モード設定：P25 ／外部機器モード設定：P30）

内蔵充電池について

本機にはリチウムイオン充電池（Li-po）が内蔵されております。充電方法などについて、以下をご参照ください。

内蔵電池に充電する



本体電源入力端子に電源アダプターを接続しコンセント側を差して本体に通電されると内蔵充電池に充電されます。充電中は本体正面の充電ランプ（赤）が点灯します。
（※満充電になると充電ランプ（赤）は消灯します）
（※電源コードと本体との接続については、P12をご参照ください）

⚠ 注 意

- ご購入時の充電池は十分に充電された状態ではありません。
- 充電池はその特性上、高温時および低温時での充放電において容量が低下いたしますが、異常ではありません。
- 充電池は消耗品につき寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ充電池の容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、電池寿命と思われますので、カスタマーセンターまでお問合せください。

（充電池は消耗品に付き無償保証の対象外です。電池の交換は有償での対応となります。）

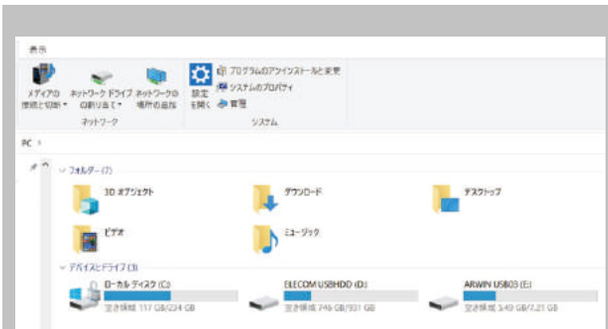
（重要）電池寿命が近い状態で更に充放電を繰り返すとリチウム電池の特性上、異常な発熱や膨張などの症状が出る場合があります。このような場合はアダプターをコンセントから外して通電および本機の使用を止めてください。

（電池寿命の目安：充放電回数：約 500 回前後）

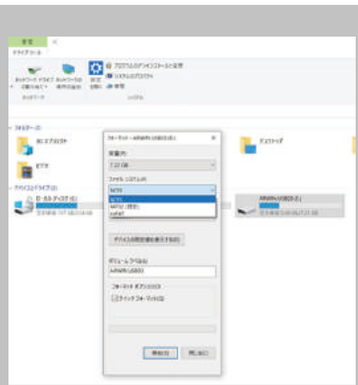
（重要）お客様ご自身による本体の開封や電池交換をされた場合、いかなる状態でも無償保証の対象外となりますのでご注意ください。

録画用メモリーのファイル形式をPCでフォーマットする

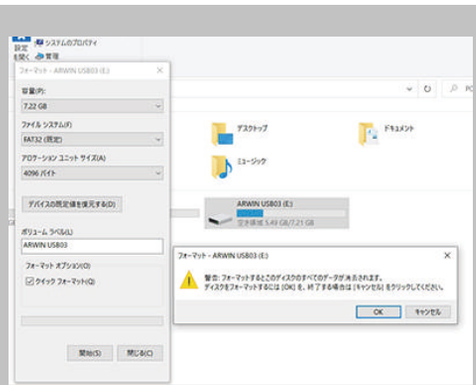
録画用のメモリーのファイルシステム形式が【FAT32形式】以外の場合、以下の手順を参考にPCでフォーマット（形式変更）してください。
尚、下記手順はOS Windows10の参考例です。その他のOSの場合はPC側のメーカーにお問い合わせください。
ご注意：フォーマットしますとメモリー内に保存されたデーターは全て消滅します。また内部システムやデーターの破損や消失する場合があります。
その場合、弊社では一切その責任を負いませんので、お客様ご自身の責任で行ってください。
※外部メディアの動作保証他サポートは一切おこなっておりませんので予めご了承ください。



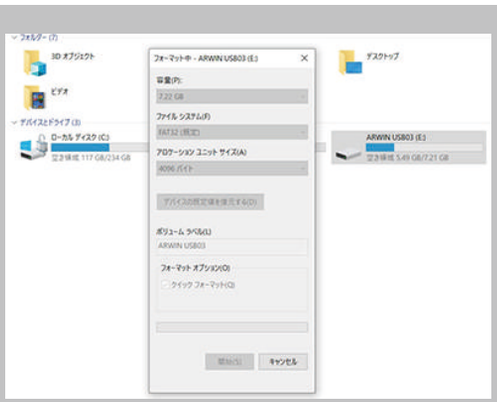
1, 録画用メディアをPCに装着後PCアイコン開く→該当のメディアを右クリック→フォーマットをクリック



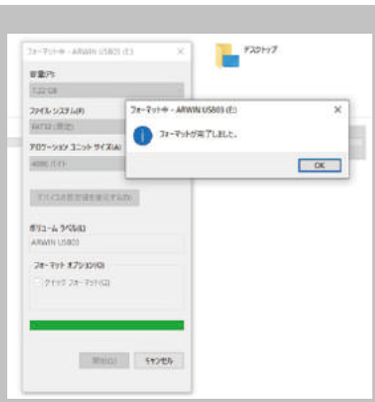
2, ファイルシステム内のFAT32を選択クリック



3, 開始をクリック→警告が出ます→問題なければ→OKをクリック



4, フォーマット中は何もしない



5, フォーマット完了→OKクリックで終了

ご注意：
大容量の外付ハードディスクはPCに搭載されて、いる初期フォーマットソフトではFAT32形式に、フォーマットできない場合があります。
その場合は外付ハードディスクメーカーから対応のソフトを入手してください。
多くの場合はメーカーWEBサポートで対応されていると思われます。

製品仕様

電源	OT-CT90G（本体）DC12V 1.5A (ACアダプター) AC100～240V 50/60Hz OT-CT101G（本体）DC12V 1.5A (ACアダプター) AC100～240V 50/60Hz	
消費電力	OT-CT90G（本体）約12W（※待機時約1W） OT-CT101G（本体）約14W（※待機時約1W）	
本体サイズ＆重量	OT-CT90G （幅）約224 x （奥行）約26.5 x （高さ）約144mm 約480g OT-CT101G （幅）約246 x （奥行）約24.5 x （高さ）約160mm 約580g	
液晶パネル	OT-CT90G	9インチ（デジタル）、a-Si TFT-LCD、フレームレート60Hz、輝度200cd/㎡ 解像度800x480画素、アスペクト比16：9、コントラスト比400：1(Yyp.)(TM) 応答速度16(Typ.)(Tr+Td)ms、視野角35/15/45/45(Mln.)(CR≧10)
	OT-CT101G	10.1インチ（デジタル）a-Si TFT-LCD、フレームレート60Hz、輝度200cd/㎡ 解像度1024x600画素、アスペクト比16：9、コントラスト比400：1(Yyp.)(TM) 応答速度16(Typ.)(Tr+Td)ms、視野角45/45/60/60(Mln.)(CR≧10)
スピーカー出力		2W x 2
TV 受信チャンネル		地上デジタル UHF（13 ～ 62ch）（フルセグ／ワンセグ）
		※インターネット回線を利用した地デジ受信環境には非対応
EPG 番組ガイド		8 日
出入力端子		AV 入力端子・HDMI 入力端子・イヤホン出力端子・アンテナ入力端子
		miniB-CAS スロット・USB2.0 ポート ×2（録画用／データ再生用）
		（※地デジ録画用ポート：～ 500GB までのメモリーを推奨） 2 TB まで動作確認していますが表示に数十秒、時間を要します **※大容量になるほどリスト表示は遅くなります**
		（※データ再生用ポート：～ 32GB までのメモリーを推奨）
メディアプレーヤー再生対応ファイル形式		＜音楽＞MP3・WMA・WAV・AAC
		＜動画＞MP4・ WMV・AVI・3GP
		＜画像＞JPEG・BMP
		＜テキスト＞TXT
		※上記形式でも再生できない場合があります ※すべての再生の保証はしておりません
推奨動作温度		約 0 ～ 40℃
内蔵バッテリー（充電再生時間）	OT-CT90G LIPO 7.4V 2500mAh （充電時間約4～4.5時間／再生時間約3時間） OT-CT101G LIPO 7.4V 3000mAh （充電時間約4.5～5時間／再生時間約3時間）	
		※上記時間は初期時の目安です、諸環境や使用法によっても変わります ※バッテリーは使用年数、頻度により劣化していきます

付属品： リモコン・AC アダプター・車載用 DC アダプター・簡易 TV アンテナ / アンテナ台座・イヤホン・車載用バッグ・miniB-CAS カード・AV ケーブル・取扱説明書（保証書添付）

※本製品は双方向番組、番組連動データ放送には対応しておりません。
※HDMI 接続で機能する外部機器との連動操作などの機能には対応しておりません。
※本製品は電子番組ガイド（EPG：約 8 日分）／字幕放送／音声多重放送に対応しております。
※CATV（ケーブルテレビ）を使用される場合、CATV の取扱説明書をよくお読みください。
※付属のリモコン用電池は動作確認用の試供品に付き、早めに新しい電池と交換してください。
※本製品仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

テレビの視聴につきましてのご注意 : テレビ電波受信につきましては地域 (電界値) やアンテナ等、受信可能な環境のもとでないと視聴できません。弊社では受信保証はしておりませんので、よろしくお願いいたします。

保証規定とアフターサービス、免責 ※次頁保証書と合わせよくお読みください

弊社では社会情勢やその他の事情によって保証規定及び保証内容を変えさせていただいておりますので常に直近の規定、内容を適用させていただきます。予めよろしくお願いいたします。

- 地震や雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して弊社は一切の責任は負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害 (事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など) に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書や保証書の記載を守らないことによって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能誤動作などから生じた損害（接続したテレビや外部録画メディアなどの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 故障や修理のときに本機へ記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化、消失した場合の損害や不利益について、弊社は一切責任を負いません。

●保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。
●保証は本体のみです。付属品は保証対象外です。
●液晶画面のドット抜け、飛びは交換及び返品及び修理も製品の性質上一切お受けできません。
●テレビ電波は非常に難しい電波でアンテナの向きが風などで少しずれただけでも映りません。
電波環境、地域(電界強弱)、やアンテナの能力によっても視聴できない場合があります。
お客様の電波環境に関して弊社ではサポートや保証は一切しておりません。
●マンションなど共同アンテナやケーブルテレビ等をお使いで受信しない場合は、住居やビルの管理者やご契約のひかりTVやケーブル会社にご相談ください。
●販売(返品や交換など)に関しましては弊社では対応しておりませんので、お買い上げ店に、お問い合わせください。
●弊社と未取引先でのご購入の場合はお買い上げ店での対応となる場合があります。
●修理の場合は交換パーツが変わる場合があります。
●弊社は検品後出荷しておりますが流通過程におきまして稀に不具合が生じる場合があります。その場合、初期(お買い上げ日より 1 週間)でありましても、まず弊社にて点検・検証させていただいた後の対応となります。不具合の場合でも基本的には修理対応となりますので何卒ご了承ください。
その場合大変お手数をお掛けしますが、予めよろしくお願いいたします。
●運送中の損傷や不具合発生が明らかに分かる場合(梱包材やパッケージの傷やへこみ等)は直接運送業者に弁償などの申し立てをお願いします。

次の場合は保証期間でも有償修理対応となります

1，保証書のご提示が無い場合。また保証書内の不備 (お買い上げ店、日にち不明他次頁保証書欄参照ください)
2，使用時に起きたキズ、色あせ、汚れ等、保管時の不備で起きた損傷
3，誤った使用、不当、修理、改造、分解で生じた故障または損傷
4，振動・衝撃・埃・粉塵がある所、高熱、太陽光があたる場所、高湿気油脂を使用する所や近辺、虫が多い所や発生しやすい場所等々、本機精密機器に適さない場所やその周辺での使用や保管での不具合発生。
5，お買上げ後の落下、故意による破損。輸送・運送等で生じた故障や損傷。
6，火災、地震、落雷、天災地変、水害、塩害、その他の災害、高熱、光や異常電圧による故障損傷、変圧器や非対応電圧の機器に接続しての故障損傷、他の非対応接続機器等を使用しての故障損傷
7，一般家庭用以外 (業務用、連続長時間使用) での使用での故障、損傷
8，車載専用ではありません。ヘッドレスト用バッグ装着で後部座席の人の視聴以外で生じた故障、劣化、損傷
9，個人間での売買、譲渡のもの関しては保証致しかねます (オークションやメリカリ等、中古品も含む)
10，新品と交換した場合や修理した場合は無償保証は原則 1 回限りとなります※以降の修理は有償となります
11，保証期間が過ぎているが修理によって機能回復するもの
12，その他修理ご依頼時に使用の方法、環境その他に虚偽が判明した場合

使い方や修理のご相談など

※弊社出張修理サービス等は行っておりません。修理・点検ご希望の際は次頁サポートセンターへご相談ください。
修理ご依頼の場合はお買い上げ店に、原則はお持ち込みとなりますが、送付の場合は次頁をご覧ください。

廃棄時のご注意

●家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの家電製品を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

部品の保有年数に関して

●修理品の部品保有年数は製造日より 5 年間をメドにしておりますが、在庫が無くなり次第終了となります。

＜持ち込み修理＞

【保　証　書】

ver.2209

品番：OT-CT90G（9インチ） / OT-CT101G（10.1インチ） **品名：録画機能付き ポータブルテレビ＆マルチプレーヤー**	※該当する品番を選んでください
お名前 **ご住所〒**	**電話番号**
販売店 **住　所** **電話番号**	**印**
お買い上げ日　西暦　　年　　月　　日 **保証期間　お買い上げ日より１年間 (本体のみ)**	**係 名** **備 考**

この度は弊社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
重要な規定、告知、注意点がありますので必ず前ページと下記をお読みください。

テレビ電波受信につきましての保証はしておりません。[*本書内ご参照] **チューナーの不良以外は修理受付はできません。**

1，本書保証書は再発行はしませんので大切に保管してください。

2，上部記入・押印欄に不備がありますと保証期間でありましても有償修理となります (前頁ご参照)。
- お買い上げ日や販売店名の手書きのみは無効です。お買い上げ店の印も原則必要となります。
- 品番、日にちが証明できるレシート、伝票、納品書等他上記が揃っていない場合はお買い上げ店にお申し出て必ず入手してください。ネットで購入した際のメールは保存しておいてください。

3，修理の場合※本書と販売が証明出来る書を提示してください。提示が無い場合は有償となります。以下注意事項
- 店頭でお買い上げ -- 販売店に持込み修理依頼となります (流通経路を経て弊社に届きますので日数は要します)。
- ネットで購入他、弊社に直接送って頂けるのが可能でしたら初期 (お買い上げ日より 1 週間以内) 以外はお客様元払い運賃のみ受付させていただきます。 ご注意 !! ①着払いの場合は受付できません。

⚠ ②北海道、沖縄、離島、当サポートセンターより遠隔地、弊社契約運送業者の路線便が無い地域は初期不具合でも往復運賃はお客様のご負担となります。

4，修理を依頼される場合は保存された大事なデータやファイルは必ず事前バックアップして下さい。弊社で復元や複製及びバックアップの作業は一切行っておりません。

5，修理作業の際、工場出荷時に戻す場合がありますので、設定値等は事前メモしてください。

6，本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty valid only Japan

7，他社製品との接続互換性や設置方法などはサポートしておりません。

修理をご依頼をされる場合はご使用の方法や環境等は検証のため正確に知らせていただくようお願いします。

下記センターは使用方法、修理のお問合せや依頼。その他付属品に関するお問い合わせを受付しております。
その他はお買い上げ店にお問い合わせしてください。
修理のご依頼前に本書内の該当ページや「トラブルシューティング」を今一度お読みください。

テクニカル・サポートセンター

お客様サポートはダイアモンドヘッド (株) 様に代わりアーウィンジャパン (株) がさせていただきます

- 対応優先順 ※次の順に対応を優先させていただいております
- メールで: support@arwin.co.jp
- FAX で：072-756-2252　・電話で：072-756-2272

受付対応日：平日営業日 (土日祝・休業日除く)

時間：9:30 ～ 11:30、13:30 ～ 17:00

ホームページの
サポートページ
問合せフォーム
は　こちらから

＜販売元＞ダイアモンドヘッド株式会社
〒108-0073　東京都港区三田 3-7-13 TDS 三田ビル 6

＜個人情報の取扱いにつきまして＞保証書にご記入いただいた個人情報につきましては本製品保証に関わる業務においてのみ利用します。尚、本目的遂行のために製造工場に提供することがあります。